

滋賀大学保健管理報告

第 25 号

(令和 3 年度)



SHIGA UNIVERSITY

滋賀大学保健管理センター

巻頭言

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

新型コロナウイルス感染症が蔓延する第七波の中、ワクチン追加接種の集団接種を終え、更にはそこから漏れた希望者に個別に接種も終了しホッとしたのも束の間、オミクロン株対応ワクチンの大学拠点接種を如何するか頭を悩ませる日々です。

令和3年度滋賀大学保健管理報告をお届けします。

令和3年(2021年)度は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が始まり、その準備やワクチンの管理に追われた一年でもありました。本学における大学拠点接種(初回接種)は、学生・教職員および地域貢献として学外の方を対象として、8月から11月の間に彦根および大津の両キャンパスに接種会場を設置して1回目2,870接種、2回目2,837接種を実施しました。お忙しい中、多大なご協力をいただいた、滋賀医科大学、彦根市立病院および済生会滋賀県病院のスタッフの方々にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

学生定期健康診断も感染対策を講じた上で、一部項目を省略して実施しました。前年秋に延期した一部の健康診断実施時に試験的に導入し、業務の効率化に貢献したWEB問診は、令和3年度にも新入生以外の上回生を対象に実施し、今後も引き続き導入することとなりました。

カウンセリングはその匿名性から、感染対策としての換気の確保が困難で、個室での対面による面談を一切中止し、一年を通して遠隔による実施となりました。特に換気扇装置が無かった分室では、ようやくこの9月に設置工事が始まりました。

また5月31日には、本学も「ヘルシーキャンパス滋賀大学」を宣言し、全学を挙げて健康増進に取り組むことになり、様々な部署や団体がヘルシーキャンパスを推進する取り組みを始めました。ウォーキングチャレンジ2021にも参加し、参加者には健康への意識が向上したと好評でした。

感染状況が日々変化していく中、国立大学保健管理施設協議会や全国大学保健管理協会といった、大学組織において保健活動を担う方々との、時宜を得た情報交換は大変有用でした。基本的な感染対策を守りつつ、元の行動に戻してある程度の感染を受容するウィズコロナへのシフトは、次々と変異を重ね免疫をすりぬける新型コロナウイルスの前には致し方ないと思われます。しかし、感染が拡大しても人流にまったく制限をかけない現在の方針は、コロナの最前線で活動している保健医療従事者の負担を顧みておらず、もう少し工夫が必要であったのではないかと考えさせられます。

最後にこの一年間を支えてくださった運営委員、スタッフおよび学生支援課の皆様に、感謝の意を表します。特に平成31年から三年間カウンセラーとして活躍いただいた渡部智行特任講師に感謝を申し上げます。

令和4年9月
保健管理センターにて

目 次

巻 頭 言

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

I. 保健管理業務と利用状況

1. 2021 年度 保健管理センター年間業務	1
2. 保健管理センターの利用状況（学生・職員）	2
2-1. 保健管理センター利用状況集計表	
2-2. カウンセリング・ルーム利用状況	
3. 彦根、大津両キャンパスにおける精神保健相談	10
4. 保健管理センター主催ワークショップ	12

II. 学生の健康診断等

1. 学生の定期健康診断	13
1-1. 実施項目と対象者	
1-2. 学生の健康診断フォロー体制	
1-3. 健康診断受診状況	
1-3-1. 学部・大学院・専攻科	
1-3-2. 非正規留学生・連合大学院	
1-4. 検査別の結果	
1-4-1-1. 内科検診	
1-4-1-2. 病気	
1-4-1-3. 症状	
1-4-2. 胸部 X 線撮影	
1-4-3. 血圧検査	
1-4-4. 尿検査	
1-4-5. 心電図検査（新入生と経過観察者）	
1-5. 事後措置	
2. その他の健康診断等	26
2-1. 外国人留学生特別健康診断の結果	
2-2. 貧血検査の結果	
2-3. 健康診断証明書・結果報告書発行枚数	

III. 教職員の健康診断等

1. 教職員の定期健康診断	28
1-1. 実施項目と対象者	
1-2. 教職員の健康診断受診状況	

IV. 研究報告

1. 業績目録	30
---------	----

V. 保健管理センターの体制について

1. 国立大学法人滋賀大学保健管理センター規程	34
2. 国立大学法人滋賀大学センター長及びセンター教員選考規程	36
3. 国立大学法人滋賀大学センター運営委員会規程	39
4. 保健管理センター配置図・建物平面図	41
5. 保健管理センター関係職員	43

VI. 沿 革

滋賀大学保健管理の沿革	44
-------------	----

VII. 資 料

1. ヘルシーキャンパスについて	-----	48
1-1. 『ヘルシーキャンパス滋賀大学』構想		
1-2. 『ヘルシーキャンパス滋賀大学』実施体制		
1-3. ヘルシーキャンパス実施報告		
2. 滋賀大学職域接種実施結果	-----	51
SHR mini No.46 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について ～第1回目接種、彦根キャンパス～		
SHR mini No.47 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第2報 ～1回目接種、彦根・大津キャンパス～		
SHR mini No.48 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第3報 ～2回目接種、彦根キャンパス～		
SHR mini No.49 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第4報 ～2回目接種、彦根・大津キャンパス～		

I. 保健管理業務と利用状況

1. 2021年度保健管理センター年間業務

4月	『SHIGA HEALTH REPORT第92号』発行（ホームページに掲載） 『健康な大学生活を送るために』新入生用に発行（ホームページに掲載） SHRmini随時発行 入学式救護[大津4/5]（健康診断のため救護バッグのみ貸出） 学生定期健康診断[彦根] 3/30～4/5（2回生以上はWeb問診） 学生定期健康診断[大津] 3/31～4/5（2回生以上はWeb問診） 教職員・学生の特例健康診断[大津] アルコール体質パッチテスト[彦根] 学生有所見者の再検査・内科面談 健康セミナー「第9回神経精神分析ワークショップ」 久保田泰考教授（滋賀大学保健管理センター）他 健康診断証明書・報告書の自動発行開始 [大津4/30・彦根5/6]
5月	学生有所見者の再検査・内科面談 国立大学保健管理施設協議会理事会出席5/27Web 保健管理協会近畿地方部会運営委員校会議・幹事校会議出席（武庫川女子大学）5/27Web 「ヘルシーキャンパス滋賀大学」宣言式5/31
6月	国立大学保健管理施設協議会総会出席(京都大学)6/22Web現地参加
7月	保健管理センター運営委員会7/1Web
8月	ワクチン職域接種[彦根17～20/大津24～26] 全国大学保健管理協会近畿地方部会総会・研究集会・評議員懇談会・保看班総会 （武庫川女子大学）8/19Webワクチン職域接種のため不参加
9月	ワクチン職域接種[彦根14～17/大津21～23]
10月	『SHIGA HEALTH REPORT第93号』発行（ホームページに掲載） 『保健管理センター管理報告24号（令和2年）』（ホームページに掲載） 全国大学保健管理協会研究集会参加（広島大学）6～7Web 国立大学保健管理施設協議会総会（徳島大学）10/8Web 所長のみ現地参加 教職員定期健康診断[大津7・8・11/彦根26・27・28] 教職員・学生の特例健康診断[大津7・8・11] 学生貧血検査[大津7・8・11/彦根26・27・28] 外国人留学生特別健康診断[大津7・8・11/彦根26・27・28] 10月入学生健康診断 大学祭駅伝出場者健康診断[彦根14・18・21] ワクチン職域接種[彦根10/17・大津10/24]
11月	ワクチン職域接種[大津11/23]
12月	クリスマスリースづくり[大津・彦根12/13～17]
1月	寒行出場者特別健康診断[彦根1/11・13] 大学入学共通テスト待機[大津・彦根1/15～16]
2月	保健管理協会近畿地方部会保看班京滋地区研修会（京都工芸繊維大学）書面形式参加 前期日程入学試験待機[大津・彦根2/25]
3月	保健管理センター運営委員会3/2Web 保健管理講演会（教職員）3/9Web 後期日程入学試験待機[大津・彦根3/12] フィジカルヘルスフォーラム（東京大学）参加 卒業式救護[大津・彦根3/25] 健康セミナー「第10回神経精神分析ワークショップ」3/26Web 久保田泰考教授（滋賀大学保健管理センター）他 学生定期健康診断[大津・彦根3/30～4/4]

2. 保健管理センターの利用状況（学生・職員）

2-1. 保健管理センター利用状況集計表

利用者数	学生			職員			その他			総計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
大津	280	583	863	278	37	316	5	4	9	1188
彦根	1150	595	1780	801	295	1102	68	72	145	3027
計	1430	1178	2643	1079	332	1418	73	76	154	4215

呼出・予約	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
Oa. 自発	744	1577	2321	315	1062	1377	9	145	154	3852
Ob. 呼出	119	203	322	1	40	41	0	0	0	363
Pa. 予約あり	433	971	1404	40	416	456	4	30	34	1894
Pb. 予約なし	433	809	1239	40	686	962	4	115	120	2321

来所目的	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
Q. 目的	863	1780	2643	316	1102	1418	9	145	154	4215
Qa. からだの相談	123	148	271	48	110	158	5	4	9	438
Qb. こころの相談	403	883	1286	27	101	128	3	37	40	1454
Qc. 健診関連	103	281	384	2	13	15	0	22	22	421
Qd. 産業保健	0	0	0	0	34	34	0	0	0	34
Qe. 設備・備品の利用	120	215	335	201	465	666	0	1	1	1002
Qf. 文書・事務手続き	66	61	127	13	6	19	1	6	7	153
Qz. 他	48	192	240	25	373	398	0	75	75	713

対応	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
R. 受付事務	114	308	422	37	238	275	0	41	41	738
Ra1. 受付事務	114	308	422	37	238	275	0	41	41	738
Ra0. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
S. 看護・保健師	371	772	1143	242	647	889	6	101	107	2139
Sa1. 専任	371	772	1143	242	645	887	6	101	107	2137
Sa2. 非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Sa0. その他	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2
T. 専任医師	159	518	677	27	209	236	2	13	15	928
Ta1. 内科医師	17	83	100	6	118	124	0	9	9	233
Ta2. 精神科医師	142	435	577	21	91	112	2	4	6	695
Ta3. 内科／精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
U. カウンセラー	249	413	662	12	17	29	3	19	22	713
V. 学校医	2	4	6	3	1	4	0	0	0	10
Va1. 内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Va2. 整形外科	2	4	6	3	1	4	0	0	0	10
Va3. 産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W. 産業医	0	0	0	0	21	21	0	0	0	21
Wa1. 専任	0	0	0	0	21	21	0	0	0	21
Wa2. 嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
X. 他の対応	0	21	21	0	4	4	0	7	7	32

診療内容	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
Y. 報告等	9	14	23	6	16	22	0	0	0	45
Z. 問診票利用	0	10	10	0	1	1	0	0	0	11
AA. 相談・問診・指導	176	64	240	51	14	65	5	0	5	310
AB. 診察	10	26	36	6	3	9	1	1	2	47
AC. 電話相談	22	30	52	1	39	40	0	28	28	120

症状・主訴	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
AD. 全身	52	6	58	2	11	13	1	0	1	72
AD1. かぜ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AD2. 発熱	2	3	5	2	2	4	0	0	0	9
AD3. 倦怠	32	2	34	0	4	4	1	0	1	39
AD4. 体重	3	1	4	0	1	1	0	0	0	5
AD0. 他	15	0	15	0	4	4	0	0	0	19
AE. 疼痛	14	24	38	12	16	28	0	0	0	66
AE1. 頭	7	4	11	0	7	7	0	0	0	18
AE2. 胸	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
AE3. 腹	2	5	7	3	1	4	0	0	0	11
AE4. 背	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
AE5. 腰	2	5	7	2	1	3	0	0	0	10
AE6. 四肢	3	3	6	5	4	9	0	0	0	15
AE0. 他	0	4	4	1	3	4	0	0	0	8
AF. 神経	15	3	18	2	0	2	1	0	1	21
AF1. めまい	2	1	3	0	0	0	1	0	1	4
AF2. 意識消失	13	2	15	0	0	0	0	0	0	15
AF3. しびれ	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
AF0. 他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
AG. 呼吸	13	8	21	2	2	4	1	0	1	26
AG1. 咳・痰	2	1	3	0	1	1	1	0	1	5
AG2. 呼吸困難	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
AG3. 胸部X線異常	7	6	13	0	1	1	0	0	0	14
AG0. 他	3	1	4	2	0	2	0	0	0	6
AH. 循環	43	19	62	0	2	2	0	0	0	64
AH1. 動悸	1	2	3	0	0	0	0	0	0	3
AH2. 血圧	24	7	31	0	2	2	0	0	0	33
AH3. 心電図異常	15	4	19	0	0	0	0	0	0	19
AH0. 他	3	6	9	0	0	0	0	0	0	9
AI. 消化	9	7	16	0	1	1	0	0	0	17
AI1. 嘔気	6	2	8	0	0	0	0	0	0	8
AI2. 嘔吐	1	2	3	0	0	0	0	0	0	3
AI3. 下痢	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2
AI4. 便秘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AI0. 他	1	2	3	0	1	1	0	0	0	4
AJ. 外傷	35	23	58	15	14	29	2	2	4	91
AJ1. 創傷	13	0	13	11	6	17	1	0	1	31
AJ2. 擦過傷	18	13	31	2	6	8	1	1	2	41
AJ3. 熱傷	3	0	3	0	2	2	0	0	0	5
AJ4. 出血	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
AJ0. 他	1	9	10	2	0	2	0	1	1	13

AK. 運動	14	15	29	3	1	4	0	1	1	34
AK1. 打撲	5	2	7	3	0	3	0	0	0	10
AK2. 捻挫	4	3	7	0	0	0	0	0	0	7
AK3. 突き指	3	5	8	0	0	0	0	0	0	8
AK0. 他	2	5	7	0	1	1	0	1	1	9
AL. 産婦人科	3	9	12	0	1	1	0	0	0	13
AL1. 生理痛	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
AL2. 月経異常	2	5	7	0	0	0	0	0	0	7
AL3. 妊娠	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
AL0. 他	1	1	2	0	1	1	0	0	0	3
AM. 泌尿	9	4	13	1	16	17	0	0	0	30
AM1. 検尿異常	9	4	13	1	14	15	0	0	0	28
AM2. 排尿異常	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
AM0. 他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
AN. 皮膚疾患	3	10	13	6	5	11	0	0	0	24
AN1. 痒痒	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
AN2. 発疹	1	3	4	0	1	1	0	0	0	5
AN3. 虫咬傷	1	1	2	6	3	9	0	0	0	11
AN4. 癬・癬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AN5. 脱毛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AN6. 多汗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AN7. しこり	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
AN0. 他	0	5	5	0	1	1	0	0	0	6
AO. 耳鼻咽喉	0	6	6	1	2	3	0	0	0	9
AO1. 鼻血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AO2. 鼻汁	0	0	0	1	1	2	0	0	0	2
AO3. 鼻閉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AO4. 耳閉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AO5. 耳鳴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AO6. 嚙声	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AO7. 咽頭痛	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
AO0. 他	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
AP. 眼	1	2	3	3	0	3	0	0	0	6
AP1. 結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AP2. 異物	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2
AP3. 視力矯正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AP0. 他	1	2	3	1	0	1	0	0	0	4
AQ. 歯科口腔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AQ1. 齲齒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AQ2. 口臭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AQ3. 歯矯正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AQ0. 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AR. 精神	5	4	9	0	5	5	1	0	1	15
AR1. 不眠	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
AR2. 不安	2	3	5	0	1	1	0	0	0	6
AR3. 抑鬱	1	0	1	0	4	4	0	0	0	5
AR4. 精神症状	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
AR5. 自殺願望	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
AR0. 他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
AS. 禁煙相談	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6
AS1. 初回	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
AS2. 再診	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
AT. その他	2	3	5	0	0	0	0	0	0	5

健診関連・産業保健	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
AU. 健診関連	88	188	276	1	17	18	0	4	4	298
AU1. 健診事後措置	88	143	231	1	15	16	0	0	0	247
AU2. 個別健康診断	0	10	10	0	0	0	0	0	0	10
AU3. 海外留学前健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AU0. 他	0	35	35	0	2	2	0	4	4	41
AV. 産業保健	0	0	0	0	21	21	0	0	0	21
AV1. 産業医面談	0	0	0	0	15	15	0	0	0	15
AV2. 保健指導	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
AV0. 他	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5

機器・設備	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
AW. 身長	74	87	161	0	1	1	0	0	0	162
AX. 体重	74	87	161	0	2	2	0	0	0	163
AY. 血圧	52	170	222	178	282	460	1	0	1	683
AZ. 体温	114	16	130	1	9	10	2	0	2	142
BA. 視力	7	19	26	0	2	2	0	0	0	28
BB. 色覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BC. 握力	104	15	119	6	0	6	0	0	0	125
BD. 爪切	0	5	5	0	9	9	0	0	0	14
BE. 貧血	6	0	6	0	0	0	0	0	0	6
BF. 尿検査	12	8	20	1	9	10	0	0	0	30
BG. 血糖	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
BH. 検眼鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BI. 検耳鏡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BJ. 体組成計	104	25	129	6	2	8	0	0	0	137
BK. 心電図	7	8	15	0	0	0	0	0	0	15
BL. 安静十二誘導	7	6	13	0	0	0	0	0	0	13
BM. 三分間	4	5	9	0	0	0	0	0	0	9
BN. 心拍変動解析	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BO. 他の心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BP. 超音波画像診断	3	13	16	0	0	0	0	0	0	16
BQ. 心臓	3	7	10	0	0	0	0	0	0	10
BR. 腹部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BS. 頸動脈	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
BT. 甲状腺	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
BU. 他の部位超音波	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
BV. アルコールパッチテスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BW. リラクゼーションルーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BX. 他の機器・設備	16	2	18	0	0	0	0	0	0	18

処置	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
BY. ベッド安静	35	15	50	2	8	10	1	0	1	61
BZ. 経口補水	0	10	10	0	2	2	1	0	1	13
CA. 冷却	9	10	19	5	6	11	0	2	2	32
CB. 流水	1	1	2	3	2	5	0	0	0	7
CC. 氷嚢	9	1	10	5	0	5	0	0	0	15
CD. 加温	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
CE. 電気行火	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
CF. 固定	1	0	1	0	0	0	0	1	1	2
CG. 洗浄	24	12	36	11	7	18	1	1	2	56
CH. 絆創膏	30	21	51	10	18	28	2	2	4	83
CI. 軟膏	9	4	13	8	6	14	0	0	0	27
CJ. 湿布	5	11	16	5	10	15	0	0	0	31
CK. 包帯・ガーゼ	0	8	8	3	5	8	0	0	0	16
CL. 点眼	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
CM. 生理用品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CN. 一次救命処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CO. 心臓マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CP. A E D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CQ. 他の処置	2	14	16	2	2	4	0	0	0	20
CR. 投薬	12	8	20	3	8	11	0	0	0	31
CS. 解熱鎮痛	0	2	2	0	3	3	0	0	0	5
CT. 消化器	3	1	4	1	1	2	0	0	0	6
CU. 呼吸器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CV. 抗菌	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
CW. 精神	8	0	8	0	3	3	0	0	0	11
CX. 漢方	3	4	7	1	4	5	0	0	0	12
CY. ニコチンパッチ	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
CZ. 他の薬	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2

領域区分	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
DB. 内科	12	38	50	2	7	9	0	0	0	59
DC01. 一般	3	8	11	1	4	5	0	0	0	16
DC02. 消化器	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2
DC03. 循環器	4	14	18	0	1	1	0	0	0	19
DC04. 呼吸器	1	4	5	0	0	0	0	0	0	5
DC05. 血液	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
DC06. 神経	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
DC07. 腎臓	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
DC08. 肝臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DC09. 糖尿病	1	1	2	0	1	1	0	0	0	3
DC10. 内分泌代謝	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
DC11. 膠原病	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
DC12. アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DC13. 感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DC14. 禁煙	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
DC00. 他の内科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
DD. 外科	0	8	8	0	1	1	0	0	0	9
DE. 整形外科	1	11	12	2	2	4	0	1	1	17
DF. 産婦人科	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6
DG. 泌尿器科	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
DH. 皮膚科	0	4	4	0	1	1	0	0	0	5
DI. 耳鼻科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
DJ. 眼科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
DK. 歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DL. 脳神経外科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
DM. 形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DN. 精神科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
DO. 他の科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

貸出	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
DP. 血圧計	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5
DQ. 体温計	0	2	2	1	6	7	0	0	0	9
DR. 松葉杖	1	1	2	0	0	0	0	0	0	2
DS. 救急鞆	0	0	0	2	6	8	0	0	0	8
DT. 視聴教材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DU. あっばくん	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
DV. 他の貸出	0	1	1	1	10	11	0	0	0	12

事務手続・文書	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
DW. 事務手続	53	44	97	0	2	2	0	3	3	102
DW1. 学研災	53	42	95	0	1	1	0	3	3	99
DW0. 他の事務手続	0	2	2	0	1	1	0	0	0	3
DX. 文書	16	26	42	0	19	19	1	0	1	62
DX1. 紹介状	7	13	20	0	0	0	0	0	0	20
DX2. 診断書	6	5	11	0	1	1	1	0	1	13
DX3. 証明書	0	7	7	0	0	0	0	0	0	7
DX0. 他の文書	3	1	4	0	18	18	0	0	0	22
DY. 英文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

経過・転帰・指示	学生			職員			その他			総計
	大津	彦根	計	大津	彦根	計	大津	彦根	計	
DZ. 経過	511	1066	1577	286	1031	1317	6	134	140	3034
DZ1. 軽快	32	12	44	4	2	6	1	0	1	51
DZ2. 不変	479	1053	1532	282	1029	1311	5	134	139	2982
DZ3. 悪化	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
EA. 転帰	856	1006	1862	316	975	1291	9	88	97	3250
EA1. 退出	849	996	1845	314	970	1284	7	86	93	3222
EA2. 帰宅	7	10	17	2	5	7	2	1	3	27
EA3. 救急搬送	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
EB. 指示	9	74	83	0	5	5	1	3	4	92
EB1. 後日診察	1	24	25	0	0	0	0	0	0	25
EB2. 医療機関受診	8	31	39	0	2	2	1	1	2	43
EB2a. 当日受診	4	11	15	0	1	1	1	1	2	18
EB2b. 後日受診	4	20	24	0	1	1	0	0	0	25
EB3. カウンセリング	0	19	19	0	3	3	0	2	2	24
EB3a. 当日カウンセリング	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
EB3b. 後日カウンセリング	0	16	16	0	3	3	0	2	2	21

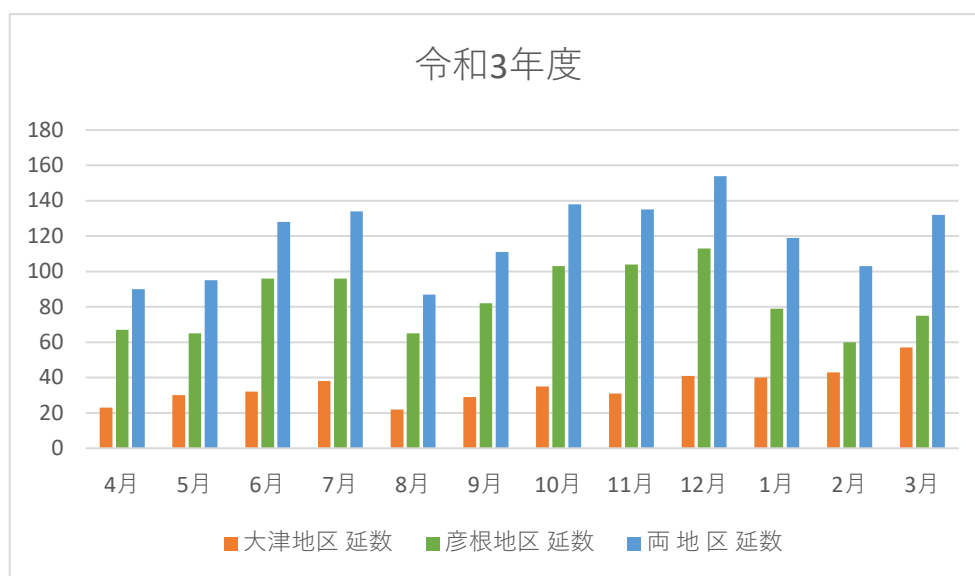
平均滞在時間（分）	25分	19分	21分	05分	09分	08分	35分	11分	13分	15分
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

2-2. カウンセリング・ルーム利用状況

令和3年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大津地区	実数	13	16	14	16	10	14	17	14	17	15	21	19	186
	延数	23	30	32	38	22	29	35	31	41	40	43	57	421
彦根地区	実数	28	27	37	37	29	33	40	38	43	34	27	31	404
	延数	67	65	96	96	65	82	103	104	113	79	60	75	1,005
両地区	実数	41	43	51	53	39	47	57	52	60	49	48	50	590
	延数	90	95	128	134	87	111	138	135	154	119	103	132	1,426

(年間の実人数 大津49人 ・ 彦根107人)



3. 彦根、大津両キャンパスにおける精神保健相談

概況

学生・職員への精神保健相談、および精神療法の機会を提供するために、精神科医常勤 1 名、臨床心理士常勤 1 名（特任・障がい学生支援担当兼務）、臨床心理士非常勤 3 名があたっている。令和 3 年度（2021 年）は Covid-19 パンデミックに対応したリモート方式の面接を継続した。こうした状況下で年間延べ 1400 件以上の事例に対応し、件数自体はほぼパンデミック前の水準まで回復した（2019 年約 1500 名）。これは各方面の協力を得て遠隔相談の体制が比較的効率よく機能したことの結果であり、各相談員の尽力と併せて、改めて学内関係機関に感謝の意を表したい。また、遠隔システムの効能として時間調整の容易さなど、利用者側のアクセシビリティが増したこともこの数字に表れていると思われる。新入生に対してこころの健康度をチェックする自己記入式アンケートは web に移行して継続実施しており、配慮が必要なケースや希望者には個別面接によるフォローアップを行うほか、慢性的な不適応状態、不登校や留年・休学者に対しての多面的なアプローチによる呼びかけも行っている。入学前より外部専門機関での援助を受けてきたケースは毎年一定数あり、障がい学生支援室と協働して、安心して大学で教育を受けることができる機会を確保するための支援を行っている。こうした事例では一般に高等教育機関である大学の専門性の高い支援体制に対する期待は大きい、一方で就学内容の高度多様化に伴う困難も深刻である。外部機関との連携を深めながら、研修などの機会ですらに専門的知識・技能を高め、個別的な支援を進めることが重要である。

最近の相談の傾向

Covid-19 パンデミックの継続による相談業務に対する影響は比較的限定的ではあるが、件数の増加傾向などに一部反映されていると考えられる。Covid に直接起因するものではないが、例えばアルバイト先が休業になった等、生活全般のストレスによる抑うつ、不安障害は徐々に目立って来ている印象である。比較的重症の統合失調症、双極性障害は以前から漸減傾向にあり、他方で神経発達障害を背景に持つケース（自閉スペクトラム症、注意欠陥・多動性障害など）の比率が増加している。後者のケースでは遠隔授業により恩恵を受けるケースが比較的多い印象があるが、モチベーションを維持できず適応不全に陥るケースもあり、個々のニーズに応じて大学への適応を高めるための環境調整を進め、また各学部とも緊密に連携を図ることが重要である。就労支援に関しては、Web 上の面接やインターンシップが一般化するなど状況は大きく変化しており、特に様々な精神障害を抱えながら就職活動を行うケースでのカウンセリング的な援助を一層拡充させることが必要である。留学生の相談は今後受け入れの再開に伴い増加することが予想され、ジェンダーについての課題を抱えた学生も漸増傾向にあり、少数ではあるがこうした相談のニーズに応えることは重要である。

今後の問題・展望

当初の予想に違わずパンデミックの状況は 2021 年を通じて悪化の一途を辿っており、そのことは感染者・死者数の一貫した増加に如実に現れている。災害の規模が甚大であると、それに比例し

て心的ダメージの影響が表れるまでの時間差が広がる傾向があることは前年にも指摘したとおりであるが、現時点でも心的な被害の全貌を把握することは難しく、その意味で遅延された「前トラウマ状態」が続いている。

さしあたり現状で指摘できることは、メンタルヘルス問題はパンデミック以前から存在した社会的な不平等を反映して、不均衡に現れていることであり、最近明らかになった若年層特に女性の自殺者の増加は、年収 200 万以下の対人接触の多い仕事に就く層に若い女性が多いという社会学的な調査結果から無理なく解釈されられると思われる。同様の観点から、アルバイト収入に頼るところの大きい経済事情が不安定な大学生のメンタルヘルス問題の悪化が今後危惧されるところである。

もっとも私たちが驚くべきなのは、そうした現実の影響がこれほどまでに見通し難いという事実であるかもしれない。実際、超過死亡者数増加が明らかになったのはようやく 2022 年に入ってからであり、さらに言えば、その一方でトラウマ的な被害の実相は日々忘却されつつある。パンデミックの記憶が記録されにくいという謎は 1918 年のスペイン風邪においても指摘されていたことなのだが、私たちもまた例えばあの 2021 年夏のオリンピック前の狂乱の最中に感染者数の急峻な増加に圧倒された記憶をほぼ忘却しているのであり、そのことは最近オリンピック汚職による逮捕、NHK 大阪の放送倫理違反といった報道を受けてようやく想起されるという有様である。

オリンピックと前後して開始された大規模なワクチン接種のキャンペーンには当センターも職域接種で協力したところであるが、これは第 5 波デルタ株制圧に対して奇跡的な成果を上げた。最近の Kayano ら(2022)による報告では死者は 67%減少したとも見積もられる(doi.org/10.1016/j.lanwpc.2022.100571)。人類はコロナに勝利したと専門家と呼ばれる人々の間で囁かれたほどだったのであるが、そうした「終わり」が幻想であったことは、その後のワクチンによる感染防御能をほぼ完全にすり抜けるオミクロン株による第 6 波以降の死者数によって誰の目にも明らかになっている。

20 代の大学生にとって、現在主流のオミクロン株によって ICU 入院が必要なほどの重症化リスクは数十万分の 1 ほどの低さで見積もられる。しかし long Covid と呼ばれる慢性化・遷延する後遺症の発症が今後問題となることは間違いなく、本邦にはそのリスクを正確に評価するための知見は、極端な検査抑制ゆえに全く欠如している。それゆえ忘却に抗しつつ、トラウマに備えることが未だに重要なのであり、メンタルヘルス対策は冷静な科学的知見に基づく基本的な防疫体制無くしては成り立たない。ワクチンを適切に運用しつつ、そのみに頼ることなく、十分な検査と隔離、検疫、時宜を得た行動制限、そしてマスクの使用といった方策を組み合わせることが重要であり、今は「何かが終わったふり」を続けるべき時ではない。

滋賀大学保健管理センター教授
久保田泰考

4. 保健管理センター主催ワークショップ

クリスマスリース制作

大津 12/13,14,15,16,17

彦根 12/13,14,15,16,17



Ⅱ．学生の健康診断等

1. 学生の定期健康診断

1-1. 実施項目と対象者

定期健康診断	新入生 編入生	2, 3, 4 回生
身長・体重・BMI	○	○
血 圧	○	○
視 力	○※	○※
胸部デジタルX線撮影	○	△
心 電 図	○	▲
検 尿 (早朝尿)	○	○
看護師による問診	○	○
医師による内科検診	○	○※

△印は、希望者及び問診で必要とされた者

▲印は、経過観察者

※印は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため省略

令和3年度学生定期健康診断日程

彦根地区（経済・データサイエンス）

場所：校舎棟2階

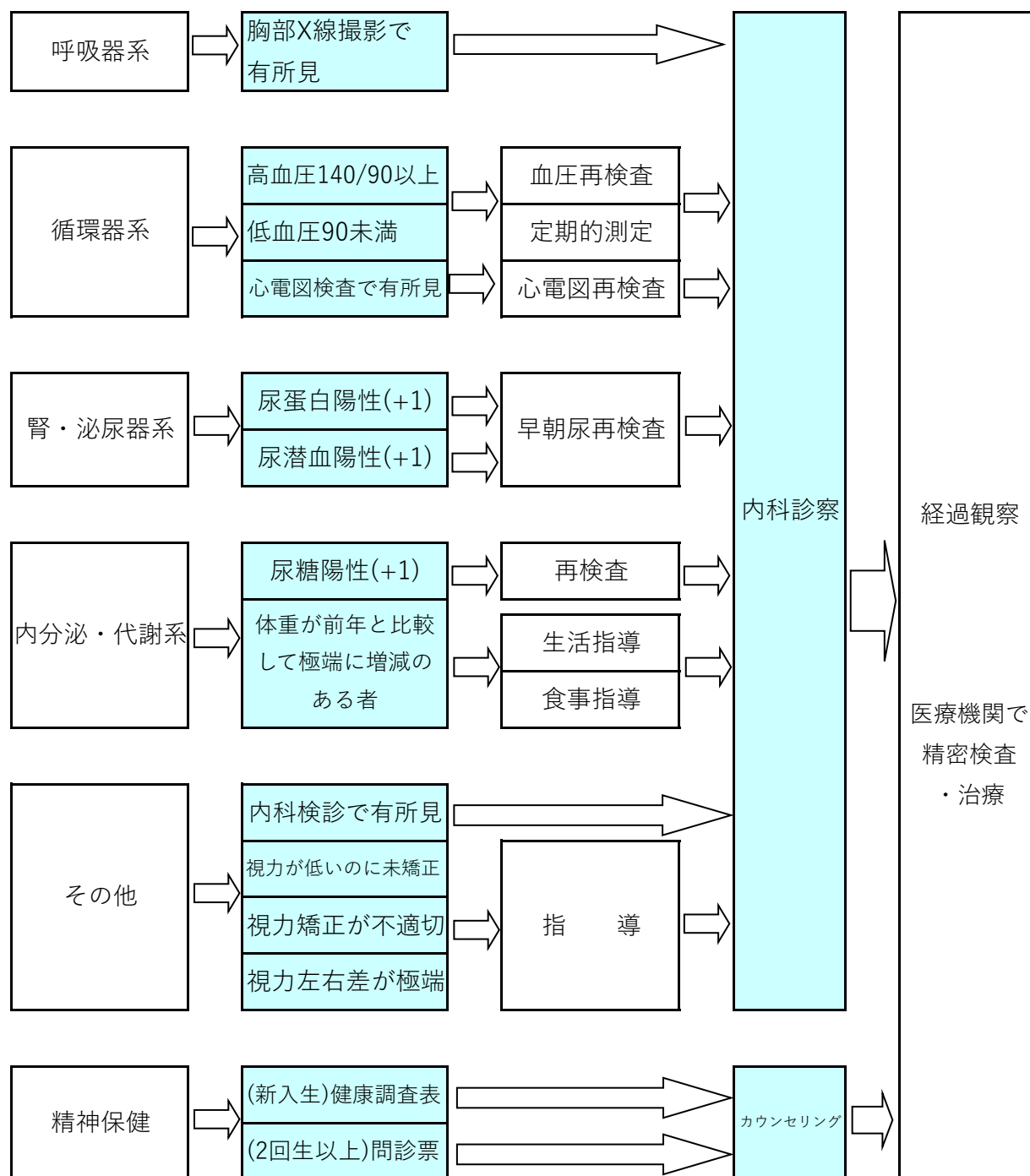
実施月日	曜日	受付時間	対象者
3月30日	火	9:00～11:30	学部4回生・大学院Ⅱの女子
		13:00～16:30	学部4回生・大学院Ⅱの男子
3月31日	水	9:00～11:30	学部4回生・大学院Ⅱの女子
		13:00～16:30	学部4回生・大学院Ⅱの男子
4月1日	木	9:00～11:30	学部3回生の女子
		13:00～16:30	学部3回生の男子
4月2日	金	9:00～11:30	新入生・編入生女子（学部・大学院）
		13:00～16:30	新入生・編入生男子（学部・大学院）
4月3日	土	9:00～11:30	新入生・編入生女子（学部・大学院）
		13:00～16:30	新入生・編入生男子（学部・大学院）
4月5日	月	9:00～11:30	学部2回生の女子
		13:00～15:30	学部2回生の男子

石山地区（教育）

場所：講義棟2階

実施月日	曜日	受付時間	対象者
3月31日	水	9:00～12:00	2回生・院Ⅱ女子
		13:30～15:30	2回生・院Ⅱ男子
4月1日	木	9:00～12:00	4回生の女子
		13:30～15:30	4回生の男子
4月2日	金	9:00～12:00	新入生女子(学部・大学院・専攻科)
		13:30～15:30	新入生男子(学部・大学院・専攻科)
4月5日	月	9:00～12:00	3回生の女子
		13:30～15:30	3回生の男子

1-2. 学生の健康診断フォロー体制



1-3. 健康診断受診状況

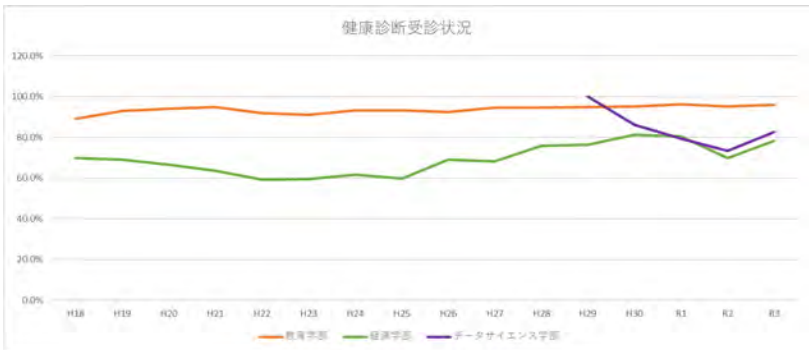
1-3-1. 学部・大学院・専攻科

令和3年度

地区		彦根地区																			
学部		DS(データサイエンス) 学										経済学									
回 生		1		2		3		4		学部小計		大学院		DS合計		1		2		3	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
在 籍 者 数		100		105		105		119		429		72		501		459		458		475	
		75	25	84	21	85	20	96	23	340	89	65	7	405	96	306	153	319	139	316	159
対象者数※1		100		105		103		116		424		72		496		459		455		470	
		75	25	84	21	83	20	94	22	336	88	65	7	401	95	306	153	317	138	314	156
血 圧 測 定	受検者数	100		89		69		98		356		54		410		457		365		311	
	受検率	74		75		52		78		279		49		328		305		245		194	
		100.0%		84.8%		67.0%		84.5%		84.0%		75.0%		82.7%		99.6%		80.2%		66.2%	
		98.7%		100.0%		89.3%		66.7%		62.7%		85.0%		83.0%		90.9%		83.0%		86.4%	
尿 検 査	受検者数	99		90		66		98		353		53		406		455		363		302	
	受検率	75		77		52		78		282		49		331		305		246		194	
		99.0%		85.7%		64.1%		84.5%		83.3%		73.6%		81.9%		99.1%		79.8%		64.3%	
		100.0%		96.0%		91.7%		61.9%		62.7%		70.0%		83.0%		90.9%		83.9%		80.7%	
X線撮影※2	受検者数	100		28		55		96		279		54		333		457		142		288	
	受検率	75		25		22		6		45		10		77		219		60		49	
		100.0%		100.0%		26.7%		52.4%		80.7%		65.0%		75.0%		66.5%		99.6%		31.2%	
		100.0%		100.0%		26.2%		28.6%		54.2%		50.0%		81.9%		86.4%		65.2%		68.2%	

地区 学部		大 津 地 区 教育学												総計		学部合計		院・専攻科合計	
		1		2		3		4		学部小計		大学院・専攻科							
回 生		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
在 籍 者 数		243		233		240		264		980		86		1,066		3,659		3,440	
		102	141	97	136	100	140	130	134	429	551	38	48	467	599	2,302	1,357	2,160	1,280
対象者数※1		243		233		237		257		970		85		1,055		3,591		3,375	
		102	141	97	136	97	140	126	131	422	548	37	48	459	596	2,250	1,341	2,110	1,265
血 圧 測 定	受検者数	243		229		235		244		951		61		1,012		3,019		2,863	
	受検率	102	141	95	134	96	139	120	124	413	538	24	37	437	575	1809	1209	1710	1152
		100.0%		98.3%		99.2%		94.9%		98.0%		71.8%		95.9%		84.1%		84.8%	
		100.0%	100.0%	97.9%	98.5%	99.0%	99.3%	95.2%	94.7%	97.9%	98.2%	64.9%	77.1%	95.2%	96.5%	80.4%	90.2%	81.0%	91.1%
尿 検 査	受検者数	243		226		234		242		945		61		1,006		2,993		2,838	
	受検率	102	141	95	131	96	138	120	122	413	532	24	37	437	569	1814	1179	1715	1123
		100.0%		97.0%		98.7%		94.2%		97.4%		71.8%		95.4%		83.3%		84.1%	
		100.0%	100.0%	97.9%	96.3%	99.0%	98.6%	95.2%	93.1%	97.9%	97.1%	64.9%	77.1%	95.2%	95.5%	80.6%	87.9%	81.3%	88.8%
X線撮影※2	受検者数	243		229		235		243		950		61		1,011		2,686		2,535	
	受検率	102	141	95	134	96	139	120	123	413	537	24	37	437	574	1581	1105	1484	1051
		100.0%		98.3%		99.2%		94.6%		97.9%		71.8%		95.8%		74.8%		75.1%	
		100.0%	100.0%	97.9%	98.5%	99.0%	99.3%	95.2%	93.9%	97.9%	98.0%	64.9%	77.1%	95.2%	96.3%	70.3%	82.4%	70.3%	83.1%

※1 対象者数は在籍者数から休学者を除いた人数（休学中でも受検した者は含む）
 ※2 胸部X線撮影は1回生を対象 その他の回生は希望者
 ※3 受検率は、対象者数で算出



1-3-2. 非正規留学生・連合大学院

令和3年度

		彦 根 地 区			大 津 地 区			合 計
		DS 非正規留学生	経済学部 非正規留学生	小計	教育学部 非正規留学生	教育学部 連合大学院	小計	
在 籍 者 数		1	19	20		13	13	33
対 象 者 数		1	19	20		13	13	33
血 圧 測 定	受検者数		5	5		1	1	6
尿 検 査	受検者数		5	5		1	1	6
X線撮影	受検者数		5	5		1	1	6

1-4. 検査別の結果

1-4-1-1.内科検診

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で1回生・編入生にのみ内科診察を実施した

令和3年度

地区別	学部	回生	性別	受検者数	所見者数	所見者の領域別								要呼出者数	管理区分			医療機関紹介後未受診	未了件数
						呼吸器系	循環器系	皮膚・皮下組織	神経系・感覚器	内分泌代謝	泌尿器系	婦人科系	血液系	その他	管理不要	経過観察	医療管理		
大津地区	教育学部	1	男	102	3	1	1	1						2		1	2		
			女	141	3		2						1	3			2	1	
		2	男																
			女																
		3	男																
			女																
		4	男																
			女																
	教育学研究科・専攻科	男		10															
		女		19	1								1	1			1		
彦根地区	DS学部	1	男	74															
			女	25	2		2							1	2				
		2	男																
			女																
		3	男																
			女																
		4	男																
			女																
	DS研究科	男		41															
		女		4															
彦根地区	小計	男		115															
		女		29	2		2							1	2				
	経済学部	1	男	304	3		3							3	3				
			女	149	8		1			6			1	7	4	2	1		1
		2	男																
			女																
		3	男	14	2		2							2			2		
			女	8															
		4	男																
			女																
	経済学研究科	男		13															
		女		7															
合計	小計	男		331	5		5							5	3		2		
		女		164	8		1			6			1	7	4	2	1		1

注) 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む
管理区分の経過観察は自己管理と保健管理センター管理を含む

1-4-1-2. 病気

※申告された身体疾患

令和3年度

地区別	学 部	回 生	性 別	受 検 者 数	申 告 者 数	申告区分			要 呼 出 者 数	事 後 措 置 者 数	事後措置				管理区分			未 了 件 数	事 後 処 置
						未 管 理 ・ 不 明	自 己 管 理	医 療 管 理			状 態 確 認	医 師 診 察	検 査	医 療 機 関 紹 介 ・ 受 診 勧 奨	管 理 不 要	自 己 管 理	医 療 管 理		
大 津 地 区	教育学部	1	男	102	16	2		14	5	5	4	1	1	1		1	15		
			女	141	23	3	4	16	7	6	6					5	17	1	
		2	男	95	9		2	7									2	7	
			女	134	15		2	13	1	1	1	1	1				2	13	
		3	男	96	9		2	7									2	7	
			女	139	10			10	1	1	1							10	
		4	男	120	11		3	8									3	8	
			女	124	11		3	8	2	2	2						3	8	
	教育学研究科 ・ 専攻科	男	24	2			2										2		
		女	37	9		2	7									2	7		
小 計	男	437	47	2	7	38	5	5	4	1	1	1		8	39				
	女	575	68	3	11	54	11	10	10	1	1			12	55	1			
彦 根 地 区	DS学部	1	男	75	11			11	4	3	3						10	1	
			女	25															
		2	男	77	13		1	12	1	1	1					1	12		
			女	14	2			2									2		
		3	男	52	3			3									3		
			女	17	2			2	1	1	1						2		
		4	男	78	4		2	2	1							1	2	1	
			女	20	3			3									3		
	DS研究科	男	49	5		1	4								1	4			
		女	5	1			1	1	1	1						1			
	小 計	男	331	36		4	32	6	4	4					3	31	2		
		女	81	8			8	2	2	2						8			
	経済学部	1	男	305	20	1	6	13	6	5	4	1	1			7	12	1	
			女	152	10		1	9	2	2	2					1	9		
		2	男	246	17		1	16	1	1	1					1	16		
			女	121	9		2	7	1	1	1					2	7		
		3	男	194	11		2	9	5	2	2					2	6	3	
			女	117	11		4	7	2							4	5	2	
		4	男	275	20		7	13	5	3						6	12	2	
			女	149	11		1	10	2	2	2	1				1	10		
		経済学研究科	男	26	4			4	1	1	1						4		
			女	15															
		小 計	男	1,046	72	1	16	55	18	12	8	1	1			16	50	6	
			女	554	41		8	33	7	5	5	1				8	31	2	
合 計		男	1,814	155	3	27	125	29	21	16	2	2	1		27	120	8		
		女	1,210	117	3	19	95	20	17	17	2	1			20	94	3		

注) 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む

管理区分の自己管理は保健管理センター管理を含む

1-4-1-3. 症状

令和3年度

地区別	学部	回 生	性 別	回 答 者 数	所 見 者 数	所見者の症状別件数（延べ数）																
						胸部 症状	体 重の 急変 動	食 欲の 低下	嘔 気・ 胸や け	み ぞお ちの 疼痛	便 秘・ 下痢	熱 がある	咳・ 痰の 持続	睡 眠の 不満 がある	易 疲 労 感	眩 暈・ 立ち 眩み	顔 や足 が浮 腫む	関 節の 腫脹・ 疼痛	頭 痛・ 肩こり	皮 膚の 発疹	聞 こえ にくさ	耳 鳴り・
大 津 地 区	教育学部	1	男	102	29	2	4	2	1	0	8	0	0	3	7	7	0	0	2	5	3	3
			女	141	51	4	6	1	4	1	13	0	1	1	12	19	8	2	11	14	9	5
		2	男	96	27	2	0	1	0	0	1	0	0	5	6	7	1	1	1	7	2	10
			女	136	48	4	3	0	0	1	5	0	2	7	9	24	5	3	6	10	4	14
		3	男	95	38	3	1	5	1	1	9	0	0	10	9	7	1	3	2	11	3	11
			女	140	57	3	3	3	1	1	8	0	0	10	15	17	9	1	6	12	8	21
		4	男	123	35	2	1	1	1	1	3	0	1	8	7	3	1	1	5	11	0	10
			女	130	54	3	4	5	4	1	13	0	0	13	12	17	5	2	12	11	6	16
	教育学研究科 ・専攻科	男	30	16	2	3	1	2	0	3	0	0	6	2	2	1	0	0	3	2	5	
		女	39	20	1	2	2	2	1	3	1	1	4	9	4	6	4	6	5	3	6	
小計	男	446	145	11	9	10	5	2	24	0	1	32	31	26	4	5	10	37	10	39		
	女	586	230	15	18	11	11	5	42	1	4	35	57	81	33	12	41	52	30	62		
彦 根 地 区	DS学部	1	男	74	26	0	1	3	4	0	7	0	0	4	3	9	0	0	0	5	5	3
			女	24	13	0	1	1	1	1	2	0	1	2	3	4	3	0	0	5	2	4
		2	男	80	24	0	2	1	1	0	1	0	1	4	3	4	1	0	3	11	1	1
			女	18	11	1	2	2	0	0	1	0	0	1	2	2	2	0	1	2	3	3
		3	男	64	20	1	1	2	0	2	2	0	1	7	5	6	0	1	0	5	3	4
			女	18	9	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	4	0	0	1	1	1	1
		4	男	81	28	2	1	1	0	1	2	0	0	11	5	6	1	1	1	5	3	12
			女	20	7	3	0	1	0	0	3	0	0	1	2	2	1	0	1	2	1	2
	DS研究科	男	49	15	0	2	1	0	0	4	0	0	5	7	2	0	2	1	3	1	5	
		女	5	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	小計	男	348	113	3	7	8	5	3	16	0	2	31	23	27	2	4	5	29	13	25	
		女	85	43	4	3	4	1	1	9	0	2	7	7	13	6	0	3	10	7	11	
	経済学部	1	男	303	86	6	15	2	3	2	26	0	3	10	18	16	2	3	8	19	8	14
			女	149	69	3	0	3	1	2	26	0	2	6	19	23	13	2	7	19	8	17
		2	男	272	81	2	10	3	3	3	7	0	1	21	20	23	2	2	6	21	3	19
			女	130	51	3	5	2	3	1	12	0	0	10	8	15	8	2	4	8	6	12
		3	男	230	73	2	7	7	5	2	10	1	1	23	21	16	1	8	6	11	5	19
			女	128	66	6	3	5	2	2	14	0	1	21	19	30	16	5	9	17	11	12
		4	男	285	100	5	11	9	3	4	13	0	2	26	26	12	0	3	6	15	10	42
			女	152	67	4	3	4	3	3	15	0	1	16	13	22	15	3	4	16	7	22
	経済学研究科	男	25	10	1	2	0	0	0	0	1	0	1	3	2	1	1	0	3	1	3	
		女	15	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	
	小計	男	1115	350	16	45	21	14	11	56	2	7	81	88	69	6	17	26	69	27	97	
		女	574	257	16	11	14	9	8	68	0	4	54	61	90	52	13	24	60	32	63	
合計			男	1909	608	30	61	39	24	16	96	2	10	144	142	122	12	26	41	135	50	161
			女	1245	530	35	32	29	21	14	119	1	10	96	125	184	91	25	68	122	69	136

1-4-2. 胸部X線撮影

令和3年度

地区別	学 部	回 生	性 別	受検者数	有所見者数	有所見率%	精検者数	管 理 区 分			医療機関紹介後 未受診	未了件数
								管理不要	経過観察	医療管理		
大 津 地 区	教育学部	1	男	102	3	2.9%	3	2		1		
			女	141								
		2	男	95								
			女	134								
		3	男	96								
			女	139								
		4	男	120								
			女	123								
	教育学研究科 ・専攻科	男	24									
		女	37	1	2.7%	1	1					
彦 根 地 区	小 計	男	437	3	0.7%	3	2			1		
		女	574	1	0.2%	1	1					
	DS学部	1	男	75								
			女	25								
		2	男	22								
			女	6								
		3	男	45								
			女	10								
		4	男	77								
			女	19								
	DS研究科	男	49									
		女	5									
	小 計	男	268									
		女	65									
	経済学部	1	男	305								
			女	152	2	1.3%	1			1		1
		2	男	97	1	1.0%	1	1				
			女	45								
		3	男	180	1	0.6%	1			1		
			女	108								
		4	男	270	3	1.1%	2	1		1		1
			女	149								
	経済学研究科	男	24	1	4.2%				1			
		女	12									
	小 計	男	876	6	0.7%	4	2	1	2			1
		女	466	2	0.4%	1			1			1
合 計		男	1,581	9	0.6%	7	4	1	3			1
		女	1,105	3	0.3%	2	1		1			1

注) 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む

管理区分の経過観察は自己管理と保健管理センター管理を含む

1-4-3. 血圧検査

令和3年度

地区別	学部	回生	性別	受検者数	1回目測定		2回目測定		後日再検査		管理区分			医療機関紹介後 未受診	未了件数
					有所見者	有所見率	所見者数	有所見率	後日 要呼出者数	再 検実施者数	管理 不要	経過 観察	医療 管理		
大津地区	教育	1	男	102	16	15.7%	6	5.9%	6	4	4				2
			女	141	3	2.1%									
		2	男	95	18	18.9%	12	12.6%	12	8	8				4
			女	134	6	4.5%	3	2.2%	3	2	2				1
		3	男	96	10	10.4%	3	3.1%	3						3
			女	139	2	1.4%									
		4	男	120	18	15.0%	6	5.0%	6	4	3	1			2
			女	124	1	0.8%	1	0.8%	1	1	1				
	教育学研究科 ・専攻科	男	24	7	29.2%	2	8.3%	2	2	2					
		女	37	1	2.7%	1	2.7%	1			1				
	小計	男	437	69	15.8%	29	6.6%	29	18	17	1				11
		女	575	13	2.3%	5	0.9%	5	3	3	1				1
彦根地区	DS学部	1	男	74	12	16.2%	6	8.1%	6	3	1	2			3
			女	25	2	8.0%	1	4.0%	1	1	1				
		2	男	75	16	21.3%	6	8.0%	6	6	5	1			
			女	14	0	0.0%									
		3	男	52	12	23.1%	4	7.7%	4	3	2	1			1
			女	17	1	5.9%									
		4	男	78	13	16.7%	3	3.8%	3	3	2	1			
			女	20		0.0%									
	DS研究科	男	49	9	18.4%	6	12.2%	6	5	2	3				1
		女	5		0.0%										
	小計	男	328	62	18.9%	25	7.6%	25	20	12	8				5
		女	81	3	3.7%	1	1.2%	1	1	1					
	経済	1	男	305	51	16.7%	18	5.9%	18	12	9	2	1		6
			女	152	8	5.3%	1	0.7%	1	1		1			
		2	男	245	46	18.8%	17	6.9%	17	11	9	1	1		6
			女	120	4	3.3%	3	2.5%	3	3	2	1			
		3	男	194	62	32.0%	18	9.3%	18	9	6	3			9
			女	117	9	7.7%									
		4	男	274	71	25.9%	22	8.0%	22	17	15	2			5
			女	149	6	4.0%	1	0.7%	1	1	1				
	経済学研究科	男	26	13	50.0%	6	23.1%	6	6	2	4				
		女	15	3	20.0%	1	6.7%	1	1		1				
	小計	男	1044	243	23.3%	81	7.8%	81	55	41	12	2	0	26	
		女	553	30	5.4%	6	1.1%	6	6	3	3				
合計			男	1809	374	20.7%	135	7.5%	135	93	70	21	2	0	42
			女	1209	46	3.8%	12	1.0%	12	10	7	4	0	0	1

注) 血圧有所見者とは最高血圧140以上又は最低血圧90以上の者
 1回目測定で有所見の場合、2回目の測定を実施
 2回目測定も有所見の場合、後日呼出をして再検査を実施
 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む
 管理区分の経過観察は自己管理と保健管理センター管理を含む

1-4-4. 尿検査

令和3年度

地区別	学部	回生	性別	受検者数	一次検査陽性数			有所見件数	有所見者数	有所見率%	再検査実施件数	再検査実施者数	二次検査陽性数			管理区分			医療機関紹介後未受診	未了者件数
					糖	蛋白	潜血						糖	蛋白	潜血	管理不要	経過観察	医療管理		
大津地区	教育学部	1	男	102																
			女	141		2	1	3	3	2.1%	3	2				1	1			1
		2	男	95	1			1	1	1.1%	1	1				1				
			女	131			3	3	3	2.3%	3	3				3				
		3	男	96		2		2	2	2.1%	2	2				2				
			女	138	1	1	4	6	6	4.3%	6	4				4				2
		4	男	120			1	1	1	0.8%	1	1		1	1		1			
			女	122		2	4	6	6	4.9%	6	5			1	4	1			1
	教育学研究科・専攻科	男	24																	
		女	37	1		3	4	4	10.8%	4	3			1	2	1				1
彦根地区	小計	男	437	1	2	1	4	4	0.9%	4	4		1	1	3	1				
		女	569	2	5	15	22	22	3.9%	22	17			2	14	3				5
	DS学部	1	男	75																
			女	24		2		2	2	8.3%										2
		2	男	77																
			女	13			1	1	1	7.7%										1
		3	男	52		2		2	2	3.8%	2	2		1		1				1
			女	14			1	1	1	7.1%	1	1				1				
		4	男	78	1			1	1	1.3%	1	1				1				
			女	20																
	DS研究科	男	49																	
		女	4																	
	小計	男	331	1	2		3	3	0.9%	3	3		1		2					1
		女	75	2	2	4	4	4	5.3%	1	1				1					3
	経済	1	男	305	1	6	2	9	7	2.3%	5	4			1	3	1	1		2
			女	150		2	1	3	3	2.0%								1		2
		2	男	246		3	4	7	5	2.0%	5	3		1	1	2		1		2
			女	117			1	1	1	0.9%	1	1				1				
		3	男	194		5	3	8	6	3.1%	5	4			1	3			1	2
			女	108																
		4	男	275	1	3	4	8	8	2.9%	4	4		1	2	2	2	1		3
			女	145	1	2	6	9	9	6.2%	5	5	1			4		1		4
	経済学研究科	男	26			1	1	1	3.8%											1
		女	15																	
	小計	男	1,046	2	17	14	33	27	2.6%	19	15		2	5	10	3	3	1		10
		女	535	1	4	8	13	13	2.4%	6	6	1			5		2			6
合計		男	1,814	4	21	15	40	34	1.9%	26	22		4	6	15	4	3	1		11
		女	1,179	3	11	25	39	39	3.3%	29	24	1	2	20	3	2				14

注) 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む

管理区分の経過観察は自己管理と保健管理センター管理を含む

1-4-5. 心電図検査（新入生と内科診察時の指示者）

令和3年度

地区別	学部	回数 生	受検者数	有所見者数	有所見者の内訳						再検査件数	管理区分			医療機関紹介後未受診	未了件数
					上室性期外収縮	心室性期外収縮	W P W 症候群	房室ブロック	右脚ブロック	その他の		管理不要	経過観察	医療管理		
大津地区	教育学部	新入生	243	11	1	2		1	2	5	6	6	2	2	1	
		その他														
	教育学研究科・専攻科	新入生	29	1						1						1
		その他														
彦根地区	D S 学部	新入生	99	9	1		1		6	1	2	3	3			3
		その他														
	D S 研究科	新入生	39	5		1			1	3		5				
		その他														
	経済学部	新入生	453	24	2	1		1	8	12	2	17	3	2		2
		その他	22	5		1			1	3	1	3		2		
	経済学研究科	新入生	22	2						2		1		1		
		その他														
合 計			868	52	4	4	1	2	17	24	11	30	8	7	1	6

注) 管理区分には1次検査の結果で掲上した者を含む
管理区分の経過観察は自己管理と保健管理センター管理を含む

1-5. 事後措置件数と管理区分（全検査）

※1-4-1-3.症状を除く

令和3年度

地区別	学部	回生	受検者数	有所見者件数	管理区分			医療機関紹介後 未受診	二次未了件数
					管理不要	経過観察・自己管理	医療管理		
大津地区	教育学部	1	243	59	11	9	34	1	4
		2	229	43	14	4	20	0	5
		3	235	30	6	2	17	0	5
		4	244	36	8	9	16	0	3
	教育学研究科・専攻科		61	19	4	4	9	0	2
	小 計		1,012	187	43	28	96	1	19
彦根地区	D S	1	100	31	7	5	10	0	9
		2	89	22	5	2	14	0	1
		3	69	12	4	1	5	0	2
		4	98	11	3	2	5	0	1
	D S 研究科		54	17	7	4	5	0	1
	小 計		410	93	26	14	39	0	14
	経済学部	1	457	96	36	17	28	0	15
		2	365	53	15	5	25	0	8
		3	311	54	12	9	16	1	16
		4	423	74	23	11	25	0	15
	経済学研究科		41	15	3	6	5	0	1
	小 計		1,597	292	89	48	99	1	55
合 計			3,019	572	158	90	234	2	88

2. その他の健康診断等

令和3年度

実施月	健康診断名	対 象	教育学部	経済学部	D S 学部	合 計
通年	試合前健康診断等	体育系クラブ		6		6
4月と5月	アルコール体質テスト	新入生・希望者	中止	243		243
7月と11月	特殊健康診断	有機溶剤や 動物取扱い者	30			30
10月	学園祭駅伝前健診	出 場 者		157		157
10月	貧血検査	新入生女子・ 経過観察者	17	12	1	30
10月	留学生特別健康診断	外国人留学生	4	15		19
1月	寒行前健康診断	出 場 者		13	1	14
1月	湖風マラソン前健診	出 場 者	中止			

2-1. 外国人留学生特別健康診断の結果

両地区合計

性別	対象者数	受検者数	所見者数	
			経過観察	要治療
男	63	8	1	0
女	77	11	4	1

2-2. 貧血検査の結果

両地区合計

	対象者数	受検者数	所見者数	
			経過観察	要治療
継続観察者	4	2	0	1
1回生女子	323	14	4	0
その他（希望者）	14	14	4	0
合計	341	30	8	1

2-3. 健康診断証明書等発行枚数

発行場所	自動発行機	センター	結果報告書
大津地区	225	8	220
彦根地区	940	21	939
合計	1,165	29	1,159

「センター」：有所見者の証明書や運動部の集団証明書はセンターで発行

Ⅲ.教職員の健康診断等

1. 教職員の定期健康診断

1-1. 実施項目と対象者

検 査 の 項 目	対 象 者		
	3 5 歳	4 0 歳以上	その他
身体測定 (身長、体重、BMI測定)	○	○	○
(腹囲測定)		○ 妊娠中、BMIが20未満の者は除く	
視力検査	○	○	○
聴力検査 (オーディオメーター検査) 1,000Hz・4,000Hz	○	○ 40歳及び45歳以上の者	
(会話式)			○
血圧測定	○	○	○
心電図検査	○	○	必要と診断された者
胸部X線デジタル撮影	○	○ 妊娠中の者は除く	○
胃部X線デジタル撮影		○ 妊娠中の者は除く	必要と診断された者
血液検査 ①貧血 ②肝機能 ③脂質 ④血糖 ⑤尿酸 ⑥腎機能	○	○	必要と診断された者
⑦風疹抗体検査 (HI法)	過去にこの検査を受けたことのない者及び希望者		
尿検査	○	○	○
便潜血検査		○	
喀痰細胞診		○ 当日の問診結果が以下のいずれかに該当する者 ・喫煙指数(1日の平均喫煙数×年数)が600以上となる者(過去における喫煙者を含む) ・6ヶ月以内に血痰があった者	
問診	○	○	○

1-2. 職員健康診断受診状況

令和3年度

検査項目		対象者	彦根地区			大津地区			附属学校		
			対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
身長・体重		全員	298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%
視力		全員	298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%
聴力		全員	298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%
血圧		全員	298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%
心電図		35・40～	235	181	77.0%	125	112	89.6%	76	76	100.0%
胸部X線		全員	298	233	78.2%	148	132	89.2%	119	115	96.6%
胃部X線		40～	225	113	50.2%	124	70	56.5%	73	67	91.8%
血液	貧血	35・40～	235	181	77.0%	125	108	86.4%	76	76	100.0%
	肝機能		235	181	77.0%	125	108	86.4%	76	76	100.0%
	脂質		235	181	77.0%	125	108	86.4%	76	76	100.0%
	血糖		235	181	77.0%	125	108	86.4%	76	76	100.0%
	その他		235	181	77.0%	125	108	86.4%	76	76	100.0%
	風疹抗体検査	今までに受けたことがない者		112			65			56	
検尿	糖	全員	298	238	79.9%	148	134	90.5%	119	116	97.5%
	蛋白		298	238	79.9%	148	134	90.5%	119	116	97.5%
	潜血		298	238	79.9%	148	134	90.5%	119	116	97.5%
便潜血		40～	225	168	74.7%	124	101	81.5%	73	71	97.3%
喀痰			8	2	25.0%	2	2	100.0%	0	0	
問診		全員	298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%
実人数			298	253	84.9%	148	135	91.2%	119	116	97.5%

※対象者数：産休・育休・休職・新採除く

附属学校：対象外で血液検査を受検した者15名は除く

※ドック結果提出者を含む

IV.研究報告

1. 業績目録

著書

久保田泰考

ミシェル・フーコー『コレージュ・ド・フランス講義』を読む, 水声社, 2021 年 04 月, 佐藤嘉幸, 立木康介 (編) 武田宙也, 久保田泰考他 学術書,
「倒錯者の不確かな肖像——最晩年講義録から『狂気の歴史』を読み直す」, 分担執筆

原著論文

1. 久保田泰考

Inter-Brain Synchronization During Sandplay Therapy: Individual Analyses, *Frontiers in psychology*, 2021 年 11 月, Michiko Akimoto, Takuma Tanaka, Junko Ito, Yasutaka Kubota, Akitoshi Seiyama
DOI:10.3389/fpsyg.2021.723211

2. 山本祐二

Akamatsu Y, Kusakabe T, Arai H, Yamamoto Y, Nakao K, Ikeue K, Ishihara Y, Tagami T, Yasoda A, Ishii K, Satoh-Asahara N.
Phase angle from bioelectrical impedance analysis is a useful indicator of muscle quality
Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle. 2021 Nov 30
PMID: 34845859 DOI: 10.1002/jcsm.12860

3. 山本祐二

Fuse-Nagase, Yasuko; Marutani, Toshiyuki; Tachikawa, Hirokazu; Iwami, Taku; Yamamoto, Yuji; Moriyama, Toshiki; Yasumi, Katsuhiko
Increase in suicide rates among undergraduate students in Japanese national universities during the COVID-19 pandemic
Psychiatry and Clinical Neurosciences. 2021. Nov;75(11):351-352.
PMID: 34355847 doi: 10.1111/pcn.13293. Epub 2021 Sep 6.

4. 山本祐二

Marutani T, Fuse-Nagase Y, Tachikawa H, Iwami T, Yamamoto Y, Moriyama T, Yasumi K.

Has COVID-19 affected suicides among graduate students in Japan?

Asian J Psychiatr. 2021 Nov;65:102803.

PMID: 34390982 doi: 10.1016/j.ajp.2021.102803. Epub 2021 Aug 10.

口演

山本祐二

ヘルシーキャンパス滋賀大学への道のり

シンポジウム2「ヘルシーキャンパス活動の展開 ～ウィズコロナ時代の大学保健に求められる取り組み～」, 第59回全国大学保健管理研究集会

2021年10月7日、WEB開催、広島大学

学会発表

久保田泰考

1. 日本心理臨床学会第40回大会自主シンポジウム, 2021年09月, ニューロサイコアナリシスの展開 アート&セラピー, シンポジウム・ワークショップ パネル
2. 第9回ニューロサイコアナリシスワークショップ in Shiga, 2021年04月, アート&セラピー, シンポジウム・ワークショップ パネル

総説・解説記事

久保田泰考

1. Report from the Kyoto NPSA study group 2021, the Bulletin of the journal Neuropsychoanalysis, 2021, Yasutaka KUBOTA
2. NPSA KYOTO study group Reports from the 9th Neuropsychoanalysis Workshop "Art and Therapy," held on April 24th, 2021, the Bulletin of the journal Neuropsychoanalysis, 2021, Yasutaka KUBOTA

その他著作（滋賀大学内）

1. 山本祐二
フィジカルヘルスのために
健康な大学生活をおくるために 17 版、p1-10、滋賀大学保健管理センター、2022.3
<https://www.shiga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/03/2021kenkouweb.pdf>
2. 山本祐二
新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第 4 報～2 回目接種、彦根・大津
キャンパス～
Shiga Health Report mini No.49: p1、滋賀大学保健管理センター、2021.10.19
3. 山本祐二
新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第 3 報～2 回目接種、彦根キャン
パス～
Shiga Health Report mini No.48: p1、滋賀大学保健管理センター、2021.10.12
4. 山本祐二
巻頭言
滋賀大学保健管理報告 第 24 号（令和 2 年度）、滋賀大学保健管理センター、2021.10
5. 山本祐二
令和 3 年度学生定期健康診断(学部生)の成績(速報版)
Shiga Health Report No.93:p2、滋賀大学保健管理センター、2021.10
6. 山本祐二
新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第 2 報～1 回目接種、彦根・大津
キャンパス～
Shiga Health Report mini No.47: p1、滋賀大学保健管理センター、2021.9.21
7. 山本祐二
新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について～1 回目接種、彦根キャンパス
～
Shiga Health Report mini No.46: p1、滋賀大学保健管理センター、2021.9.13

8. 山本祐二

新型コロナウイルスワクチン接種について

滋賀大学保健管理センターホームページ、2021.8.1

https://www.shiga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/08/covid-19_vaccination_QA.pdf

社会貢献

久保田泰考

1. 滋賀県こころの教育相談センター不登校問題巡回研修会での講演および公開相談会,
2021 年 10 月
2. 滋賀県立鳥居本養護学校教職員研修会講師, 2021 年 11 月

学内貢献

学内講演会

久保田泰考：講師

滋賀大学人事労務課主催メンタルヘルス講演会「新型コロナ時代のメンタルヘルス(続)」
2022 年 3 月 9 日

V.保健管理センターの体制について

1. 国立大学法人滋賀大学保健管理センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人滋賀大学学則(平成16年4月1日制定)第12条の規定に基づき、国立大学法人滋賀大学(以下「本学」という。)における保健管理センター(以下「センター」という。)に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、本学における保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターにおいては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 保健管理に関する実施計画の企画及び立案
- (2) 健康診断、健康指導及び精神保健指導
- (3) 精神的及び身体的健康相談
- (4) 保健衛生、環境衛生、伝染病の予防等についての指導及び啓発
- (5) 救急処置
- (6) 健康管理に関する調査及び研究
- (7) その他保健管理に関する必要な専門的事項

(分室)

第4条 センターの業務を円滑に行うため、教育学部に分室を置く。

2 分室に分室長を置く。

(組織)

第5条 センターは、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 所長
- (2) 分室長
- (3) センター教員(特任教員を含む。以下同じ。)
- (4) 学校医
- (5) 技術職員
- (6) その他必要な職員

(所長、分室長及びセンター教員)

第6条 所長は、本学専任の教授をもって充て、センターの業務を総括する。

2 分室長は、教育学部の教授又は准教授をもって充て、所長の命を受け、分室の業務をつかさどる。

3 センター教員は、保健管理に関する専門的業務を行う。

4 所長及び分室長は、第8条に規定する国立大学法人滋賀大学保健管理センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)の意見を聴いた上で、学長が選考し、任命する。

5 所長及び分室長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

6 センター教員は、運営委員会の議を経て、学長が任命する。

7 所長、分室長及びセンター教員の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(学校医)

第7条 学校医は、学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号)第22条に基づく業務を行う。

(運営委員会)

第8条 センターの運営に関する具体的事項を審議するため、運営委員会を置く。

2 運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 センターの事務は、学生支援課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

2. 国立大学法人滋賀大学センター長等及びセンター教員選考規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人滋賀大学学則（平成16年4月1日制定）第8条に規定する学内共同教育研究施設及び同学則第11条に規定する保健管理センター（以下「センター」という。）の各センター規程に基づき、センターのセンター長又は所長、副センター長又は分室長及びセンター教員（特任教員を含む。以下同じ。）の選考に関し、必要な事項を定める。

(用語の定義)

第2条 この規程において、センター、センター長、所長、副センター長、分室長及びセンター教員とは、各センター規程において規定するものをいう。

(センター長等候補者選考の時期)

第3条 センター長又は所長及び副センター長又は分室長（以下「センター長等」という。）の選考は、次の各号のいずれかに該当する場合に行う。

- (1) センター長等の任期が満了するとき。
- (2) センター長等が辞任を申し出たとき。
- (3) センター長等が欠員となったとき。

2 前項第1号に該当する場合の選考は、任期満了の1か月前までに、同項第2号又は第3号に該当する場合は、速やかにこれを行わなければならない。

(センター長等候補者の選考)

第4条 センター長等候補者を選考するに当たっては、センターの運営委員会（以下「運営委員会」という。）の下にセンター長等選考委員会を置く。

2 センター長等選考委員会は、国立大学法人滋賀大学の専任の教授又は准教授（センター専任の教授又は准教授として採用予定である者を含む。）のうちからセンター長等候補者各1人を選考し、運営委員会に報告する。

(センター長等選考委員会)

第5条 センター長等選考委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する理事又は副学長
- (2) 学部長
- (3) センター長又は所長
- (4) 副センター長又は分室長
- (5) センター専任教員又は学部から選出された教員若干人

2 センター長等選考委員会に委員長を置き、前項第1号の委員をもって充てる。

3 委員長は、センター長等選考委員会を招集し、その議長となる。センター長等選考委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議決は出席委員（議長を除く。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(センター教員の選考)

第6条 運営委員会は、センター長又は所長からセンター教員の採用等に係る提案を受けたときは、その提案を審議する。

2 センター教員を選考するに当たっては、学長の承認を得た上で、運営委員会の下にセンター教員選考委員会（以下「選考委員会」という。）を置く。

3 選考委員会は、センター教員候補者を選考し、運営委員会委員長に推薦する。

4 前項の選考については、国立大学法人滋賀大学教員選考基準（平成16年4月1日制定）の定めるところによる。

（選考委員会）

第7条 選考委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) センター長又は所長

(2) 副センター長又は分室長

(3) センター専任教員（選考の対象となる者は除く。）

(4) 学長が指名する理事又は副学長

(5) 学部から選出された教員 各1人

(6) その他運営委員会が必要と認めた者

2 前項の規定にかかわらず、センター専任教員を選考するときは、学部長を加えることができる。

3 選考委員会に委員長を置き、第1項第1号の委員をもって充てる。

4 委員長は、選考委員会を招集し、その議長となる。選考委員会は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議決は出席委員（議長を除く。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した委員が、その職務を代行する。

（雑則）

第8条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、運営委員会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

2 国立大学法人滋賀大学生涯学習センター長、副センター長及び専任教員選考規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学産業共同研究センター長、副センター長及び専任教員選考規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学環境総合研究センター長、副センター長及び専任教員選考規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学保健管理センター所長、分室長及び専任教員選考規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学国際センター長、副センター長及び専任教員選考規程（平成18年4月1日制定）及び国立大学法人滋賀大学地域連携センター長、副センター長及びセンター教員選考規程（平成22年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年10月15日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

3. 国立大学法人滋賀大学センター運営委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人滋賀大学学則（平成16年4月1日制定）第8条に規定する学内共同教育研究施設及び同学則第11条に規定する保健管理センター（以下「センター」という。）の各センター規程に基づき、各センターの運営委員会（以下「運営委員会」という。）について、必要な事項を定める。

(用語の定義)

第2条 この規程において、センター、センター長、所長、副センター長、分室長及びセンター教員とは、各センター規程において規定するものをいう。

(審議事項)

第3条 運営委員会は、センターの円滑な運営を図るため、次に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの運営に関すること。
- (2) センターの業務計画と実施に関すること。
- (3) センターの予算の執行計画に関すること。
- (4) センター長又は所長、副センター長又は分室長及びセンター教員の人事に関すること。
- (5) その他センターの運営に関し必要な事項

(組織)

第4条 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長又は所長
- (2) 副センター長又は分室長
- (3) センター専任教員
- (4) 学長が指名する理事又は副学長
- (5) 学部から選出された教員 各1名
- (6) その他センター長又は所長が必要と認めた者

(委員の任命及び任期)

第5条 前条第5号に掲げる委員は、学長が任命する。

2 前項の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 運営委員会に委員長を置き、センター長又は所長をもって充てる。

2 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第7条 運営委員会は、委員の過半数の出席により成立する。ただし、第3条第4号に掲げる事項の審議は、3分の2以上の出席により成立する。

2 運営委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決

するところによる。

(委員以外の者の出席)

第8条 運営委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第9条 運営委員会の事務は、各センターの事務を所掌する事務部において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、運営委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人滋賀大学生涯学習センター運営委員会規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学産業共同研究センター運営委員会規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学環境総合研究センター運営委員会規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学保健管理センター運営委員会規程（平成16年4月1日制定）、国立大学法人滋賀大学国際センター運営委員会規程（平成18年4月1日制定）及び国立大学法人滋賀大学地域連携センター運営委員会規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。
- 3 この規程の施行日前に、滋賀大学全学センター管理委員会で選考されている滋賀大学保健管理センターの人事は、当該センター運営委員会に引き継ぐものとする。

附 則

この規程は、平成28年8月1日から施行する。

附 則

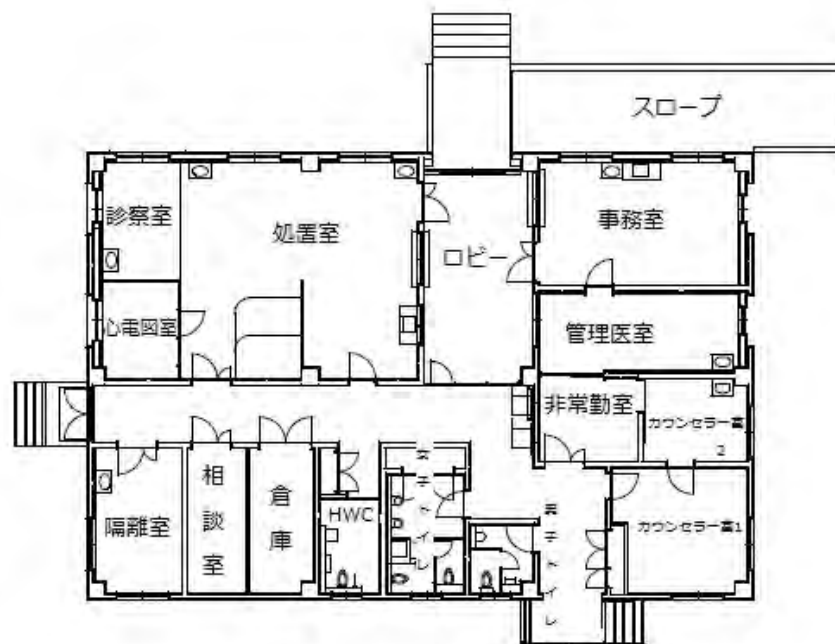
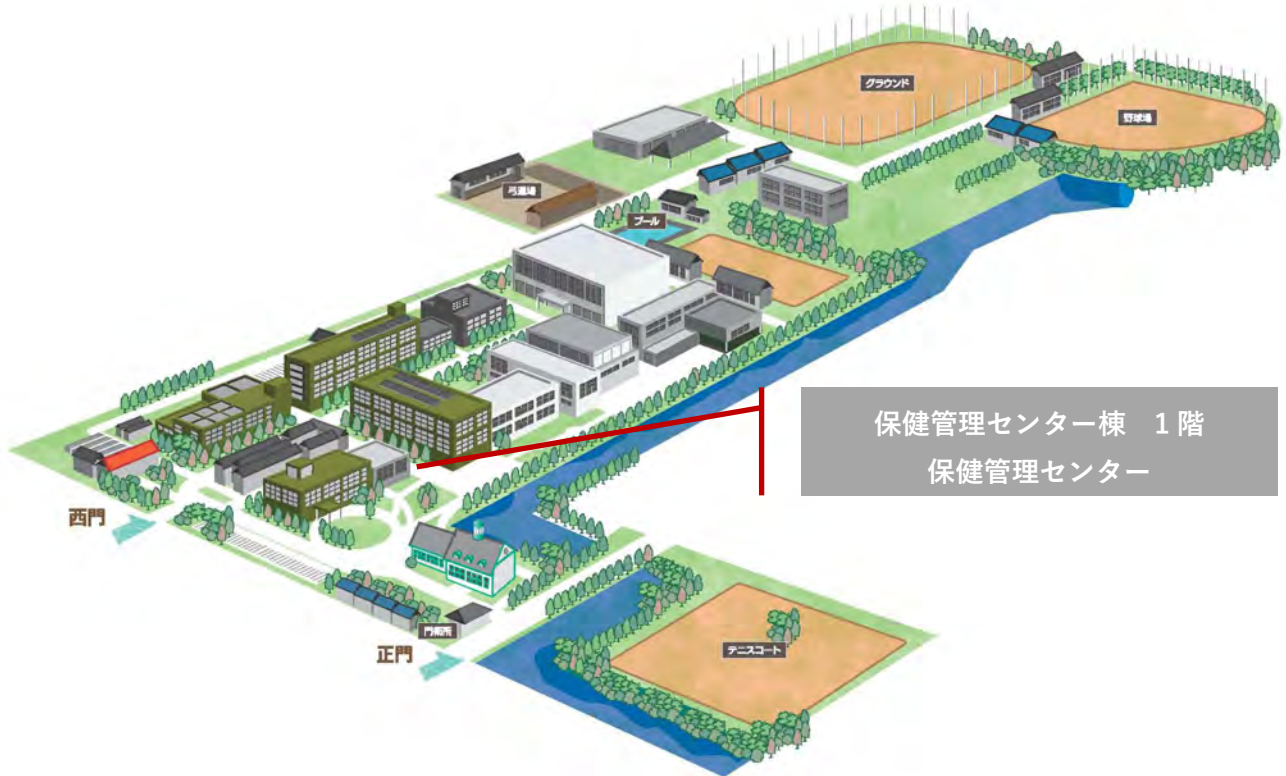
この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

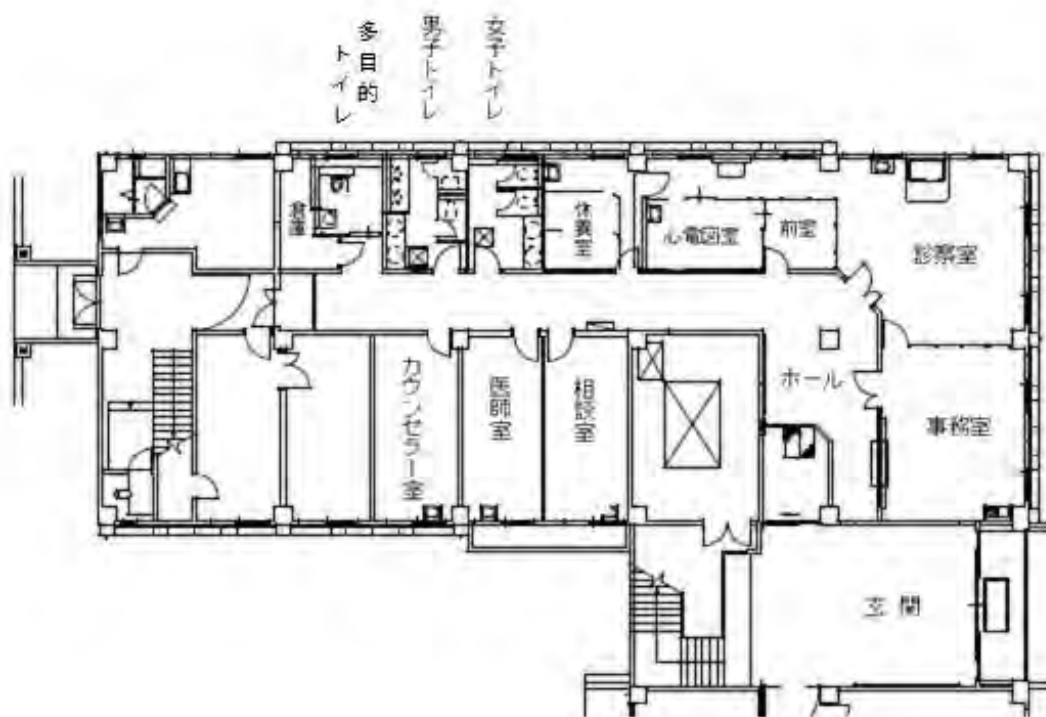
この規程は、令和元年10月15日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

4. 保健管理センター配置図・建物平面図

彦根キャンパス



大津キャンパス



5. 保健管理センター関係職員（令和4年3月31日現在）

（1）職員数

教 授	准 教 授	保健師等	非常勤等	パート職員等	計
2	0	2	7	2	13

（2）関係職員

保健管理センター所長（兼務）	山本 祐二（保健管理センター教授）
〃 分室長（兼務）	菅 眞佐子（教育学部教授）
精神科医	久保田 泰考（保健管理センター教授）
保健師（保健管理センター）	大矢 理沙
看護師（ 〃 分室）	今村 祐子
事務補佐員（保健管理センター）	坂本 弓恵
〃 （ 〃 分室）	井上 玲子

学校医（非常勤）等

保健管理センター（彦根地区）	保健管理センター分室（大津地区）
高村 利彦（整形外科）	北村 清明（内科）
藤原 浩（女性相談）	北村 博之（整形外科）
國松 典子（カウンセリング）	藤原 浩（女性相談）
渡部 智行（カウンセリング）	岩城 晶子（カウンセリング）

運営委員会委員

山本 祐二（保健管理センター所長）	窪田 知子（教育学部准教授）
菅 眞佐子（保健管理センター分室長）	榎本 雅之（経済学部准教授）
久保田泰考（保健管理センター教授）	田中 琢真（DS学部准教授）
喜名 信之（理事〔教育・学術担当〕）	

VI. 浴 革

滋賀大学保健管理の沿革

昭和 24 年 5 月 滋賀大学開設時の補導厚生

大学開設と同時に教導部（昭和 28 年 2 月に学生部と改称）がおかれ教導部長が任命された。学部学生の直接指導は学部選出の補導委員（初め教導委員とした）が学生部長と学部長との間に連絡をとりながら行った。

健康管理については、彦根地区には保健婦は赴任しておらず、教導部職員が救急箱を持って走ったというエピソードが残っている。また、レントゲン検診の際には職員が付き添って保健所に出かけていた。大津地区には小さいながらも、レントゲン室が設けられていた。看護婦が常任し、現在と同じ活動がスタートしていた。この当時大都会における各大学では、学生の栄養失調による健康不良の改善が大きな問題であったが、幸い滋賀大学では、農村が近く恵まれた環境にあり、そうした問題は免れていた。

昭和 28 年 8 月 経済短期大学部が設置される。

昭和 30 年 11 月 彦根地区に保健室開設

保健婦が赴任し、健康管理活動が充実する。レントゲンその他の医療機械、器具、薬品が整い、レントゲンの定期検査を行うほか、週一回学校医（内科）による健康相談も実施するようになる。

昭和 33 年 4 月 学生相談室開設

学生の精神的健康を援助する目的で開設され、学部から選出された教官が学生のあらゆる問題について個人相談に応ずることになる。

昭和 41 年 4 月 文部省は全国の国立大学に保健管理センターを設置する方針を打ち出す。

昭和 46 年 4 月 「保健だより」発刊

学生が自分たちの健康管理に関心を持って、積極的に取り組むことを願い、年 2 回発行することとし、学生厚生課が編集の任に当たる。

昭和 52 年 6 月 第 277 回評議会において、滋賀大学保健管理センターの新設および整備について昭和 53 年度概算要求することを決定。

昭和 53 年 2 月 保健管理センター設置準備委員会発足

4 月 保健管理センター設置される。

保健管理センターの設置に伴い、保健管理体制の充実強化が行われる。教育学部保健室が増改築され、保健管理センター分室となる。非常勤の学校医が増員され、これまでの内科に加えて眼科、婦人科、精神科、耳鼻科（大津地区のみ）の各医師が発令された。

7 月 保健管理センター規則が制定され昭和 53 年 4 月から適用される。

9 月 初代保健管理センター所長（経済学部 小林健吾教授）、分室長（教育学部 宮田英子教授）が発令された。

12 月 保健管理センター専任教官着任 教授：山岸司久（内科学）講師：畠瀬直子（臨床心理学）

初代所長辞任に伴い、保健管理センター教授が所長に併任発令された。

昭和 54 年 11 月 保健管理センター竣工

昭和 55 年 3 月 充実した設備をそなえた保健管理センターの建物が彦根地区に完成。当センターは名実ともに独立して、学生と教職員の心身の健康を増進するべく活動を開始する。

10 月 保健管理報告創刊号発行
所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が分室長に発令された。

昭和 57 年 10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が分室長に再任発令された。
保健管理報告第 2 号発行

昭和 59 年 10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が分室長に再任発令された。

昭和 60 年 1 月 保健管理報告第 3 号発行
3 月 保健管理センター分室竣工
7 月 畠瀬直子講師（カウンセラー）が助教授に昇任発令された。

昭和 61 年 10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、宮田英子教授が分室長に発令された。

昭和 62 年 3 月 保健管理報告第 4 号発行

昭和 63 年 10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、宮田英子教授が分室長に発令された。

平成 元年 3 月 保健管理報告第 5 号発行

平成 2 年 4 月 分室長の辞任に伴い、林 正教授が分室長に発令された。
10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター分室長に再任発令された。

平成 3 年 3 月 保健管理報告第 6 号発行

平成 4 年 10 月 所長の任期満了に伴い、山岸司久教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター分室長に再任発令された。

平成 5 年 3 月 保健管理報告第 7 号発行

平成 6 年 3 月 山岸司久教授が定年により退職。
4 月 本学教育学部佐藤比登美教授が保健管理センター専任教授として着任。
所長の任期満了に伴い、佐藤比登美教授が保健管理センター所長に併任発令された。
10 月 分室長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター分室長に再任発令された。

平成 7 年 3 月 保健管理報告第 8 号発行

平成 8 年 4 月 佐藤比登美教授が島根大学教育学部へ転任。
京都大学胸部疾患研究所 門 政男教授が保健管理センター所長に専任教授として着任。
所長の任期満了に伴い、門 政男教授が保健管理センター所長に併任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター分室長に再任発令された。

- 平成 9 年 3 月 保健管理報告第 9 号発行
所長の病気休暇に伴い、林 正分室長が保健管理センター所長事務代理に発令された。
- 平成 10 年 3 月 畠瀬直子助教授が辞職。
4 月 所長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター所長に併任発令された。
分室長の任期満了に伴い、林 正教授が保健管理センター分室長に再任発令された。
門 政男教授が職務復帰。
5 月 京都大学医学部附属病院十一元三医員が保健管理センター専任教官（講師）として着任。
11 月 門 政男教授が死去。
- 平成 11 年 3 月 保健管理報告第 10 号発行
4 月 十一元三講師が助教授に昇任発令された。
5 月 京都大学医学部附属病院山本孝吉助手が保健管理センター専任助教授として着任。
- 平成 12 年 4 月 山本孝吉助教授が教授に昇任発令された。
所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に併任発令された。
分室長の任期満了に伴い、玉木京子助教授が保健管理センター分室長に発令された。
- 平成 13 年 3 月 保健管理報告第 11 号発行
- 平成 14 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、矢野由起教授が保健管理センター分室長に発令された。
- 平成 15 年 3 月 保健管理報告第 12 号発行
- 平成 16 年 4 月 十一元三助教授が京都大学医学部保健学科へ転任。
米国 ケースウエスタンリザーブ大学医学部 客員研究員 久保田泰考医員が保健管理センター専任教員（講師）として着任。
所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、矢野由起教授が保健管理センター分室長に再任発令された。
- 平成 17 年 3 月 保健管理報告第 13 号発行
4 月 久保田泰考講師が助教授に昇任。
- 平成 18 年 4 月 矢野由起教授の辞任に伴い、堀越昌子教授が保健管理センター分室長に発令された。
所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、白石恵理子教授が保健管理センター分室長に発令された。
- 平成 19 年 3 月 保健管理報告第 14 号発行
- 平成 20 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、白石恵理子教授が保健管理センター分室長に再任発令された。
- 平成 20 年 11 月 保健管理報告第 15 号〔30 周年記念特集号〕発行
- 平成 22 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本孝吉教授が保健管理センター所長に再任発令された。
分室長の任期満了に伴い、白石恵理子教授が保健管理センター分室長に再任発令された。
- 平成 22 年 12 月 保健管理報告第 16 号発行

平成 23 年 4 月 分室長白石恵理子教授の辞任に伴い、秋山元秀教授が保健管理センター分室長に発令された。

5 月 山本孝吉教授が辞職。

6 月 山本孝吉所長の辞任（辞職）に伴い、近藤文里副学長が保健管理センター所長に併任発令された。

京都大学医学部附属病院山本祐二特定助教が保健管理センター専任准教授として着任。

平成 23 年 10 月 高木綾氏が保健管理センター特任講師として着任。

平成 24 年 4 月 山本祐二准教授が教授に昇任発令された。

所長の任期満了に伴い、山本祐二教授が保健管理センター所長に併任発令された。

分室長の任期満了に伴い、秋山元秀教授が保健管理センター分室長に再任発令された。

平成 24 年 11 月 保健管理報告第 17 号発行

平成 25 年 4 月 時岡良太氏が保健管理センター特任講師として着任。

平成 26 年 3 月 高木綾特任講師が辞職。

平成 26 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本祐二教授が保健管理センター所長に再任発令された。

分室長の任期満了に伴い、兒玉典子教授が保健管理センター分室長に発令された。

永山智之氏が保健管理センター特任講師として着任。

平成 26 年 9 月 保健管理報告第 18 号発行

平成 27 年 8 月 永山智之特任講師が障がい学生支援室に配置換え。

平成 28 年 4 月 久保田泰考准教授が教授に昇任発令された。

所長の任期満了に伴い、山本祐二教授が保健管理センター所長に再任発令された。

分室長の任期満了に伴い、杉江徹教授が保健管理センター分室長に発令された。

平成 28 年 10 月 保健管理報告第 19 号発行（電子発行に移行）

平成 29 年 11 月 保健管理報告第 20 号発行

平成 30 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本祐二教授が保健管理センター所長に再任発令された。

分室長の任期満了に伴い、神山保教授が保健管理センター分室長に発令された。

平成 30 年 11 月 保健管理報告第 21 号発行

平成 31 年 3 月 時岡良太特任講師が辞職

平成 31 年 4 月 渡部智行特任講師が着任

令和元年 10 月 保健管理報告第 22 号発行

令和 2 年 4 月 所長の任期満了に伴い、山本祐二教授が保健管理センター所長に再任発令された。

分室長の任期満了に伴い、菅眞佐子教授が保健管理センター分室長に発令された。

令和 2 年 10 月 保健管理報告第 23 号発行

令和 3 年 10 月 保健管理報告第 24 号発行

令和 4 年 3 月 渡部智行特任講師が辞職

VII. 資 料

1. ヘルシーキャンパスについて

1-1. 『ヘルシーキャンパス滋賀大学』構想

(事業の概要)

〔概要〕

この事業は、学生・教職員の大学におけるあらゆる活動に“健康”という観点を取り入れ、自身や周囲の“こころ”と“身体”の健康意識の向上を図る取り組みである。この取り組みを通じて、学内の人々の健康を増進させるだけでなく、大学を基点として「健康を大事にする文化」を社会に広げ、根付かせることを目指す。

〔目的〕

大学から人々と社会の身体的・精神的な健康を創造する

〔目標〕

- ・大学のすべての活動に健康の視点を取り入れる
- ・健康増進活動を実施・支援する
- ・健康に関わる活動を集約し大学内外へ情報発信する

〔必要性・重要性〕

学生・教職員の“こころ”と“身体”の健康づくりにおける環境改善が喫緊の課題となっている。

健全な身体の維持及び精神的に安定した生活維持のために、学内での修学・就業環境を良好にする必要があるため。

〔中期目標・計画等との関連性〕

「目標Ⅴ 2 (27) 中期計画 58 R2 年度計画 58A」ヘルシーキャンパス構想

(事業の実施方法)

- 学長による「ヘルシーキャンパス宣言」の実施
- 記念講演会の開催
- ヘルシーキャンパス実施体制の整備・学内周知
 - ・ヘルシーキャンパス滋賀大学推進委員会設置
 - ・学内周知（HP掲載・学内掲示・ノボリ設置）
- 次のプロジェクト
 - (健康情報の収集と発信)
 - ・学内の健康に関する活動情報や研究成果を収集し、学内外へ発信（広報、保健管理センター情報誌SHR・SHRminiの発行）
 - (食の改善)
 - ・大学生協と連携した食育・栄養指導
 - ・大学生協食堂でのヘルシーランチの開発・提供の支援
 - (健康増進活動)
 - ・健康相談の実施
 - ・禁煙相談の実施
 - ・健康増進活動の企画・実施
 - (地域社会との連携)
 - ・健康セミナーの開催
 - ・献血活動への支援
 - ・滋賀大マルシェの開催

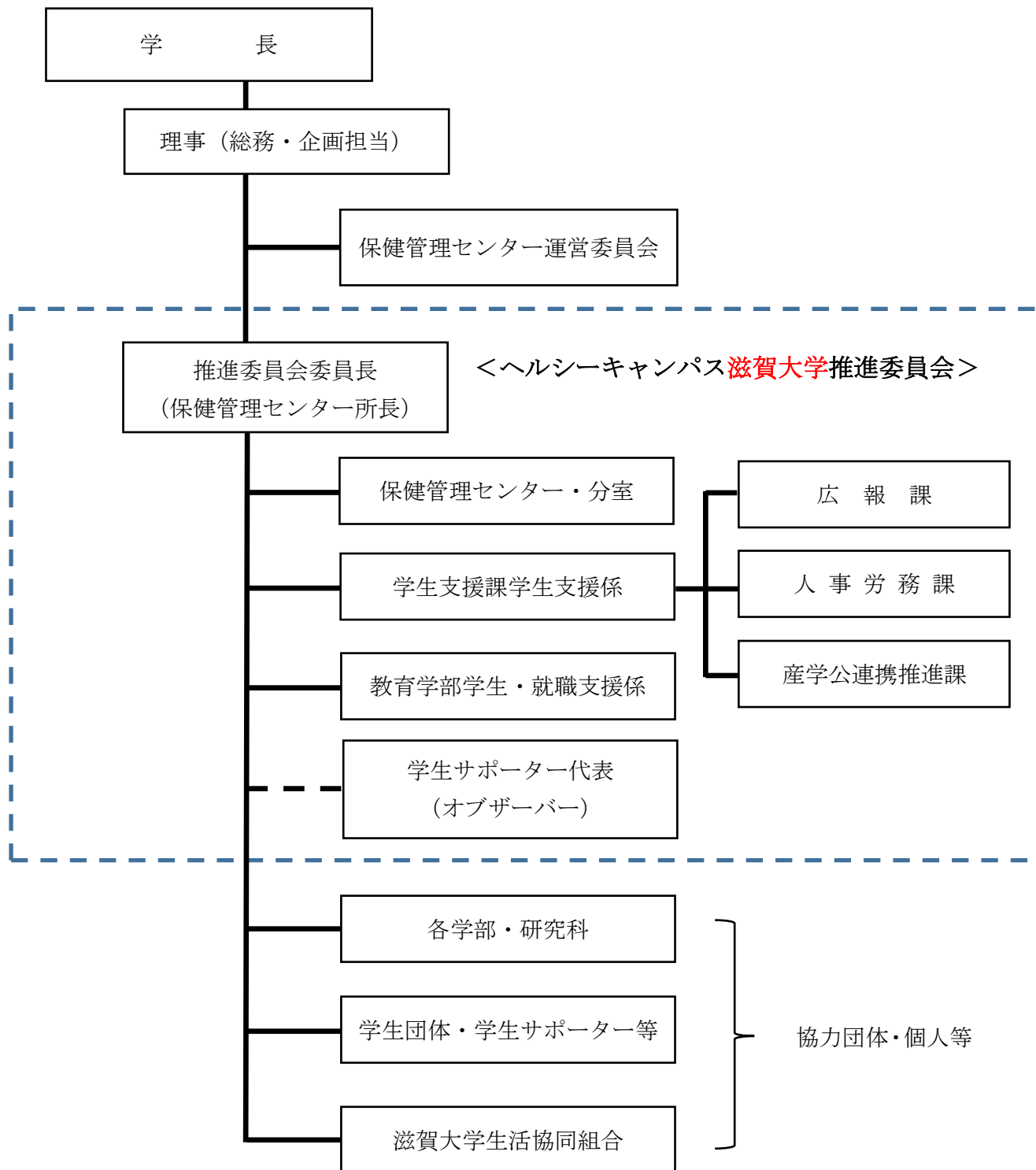
(期待される効果)

- ①学生・教職員の健康意識の向上および健康増進
- ②大学の生産性の向上
- ③健康増進に関する活動情報や研究成果の地域還元

1-2. 『ヘルシーキャンパス滋賀大学』実施体制

○「ヘルシーキャンパス滋賀大学推進委員会」の立ち上げ

○実施体制（案）



※推進委員会は、協力団体・個人等の協力を得て、全学的事業として計画している事業を行う。

1-3. ヘルシーキャンパス実施報告

2021 年 5 月 31 日	【宣言式】位田学長が「ヘルシーキャンパス滋賀大学」を宣言 京都大学環境安全保健機構健康科学センター・石見拓教授の宣言式
7 月 5 日	夏バテに負けるな！！ 彦根生協食堂「ヘルシーキャンパス滋賀大学」メニュー【第1弾】提供
8 月 6 日	「ヘルシーキャンパス滋賀大学」活動報告 食や健康に関する豆知識ボードを彦根生協食堂で展開
9 月 27 日	不織布マスクキャンペーンを実施
10 月 12 日	「ウォーキングチャレンジ2021」参加者募集
11 月 1 日～30 日	ウォーキングチャレンジ
12 月 16 日	学生企画「ヘルシーリサーチ」を実施
2022 年 2 月 16 日	ウォーキングチャレンジ表彰式を実施
3 月 24 日	大学や家庭で簡単にできるストレッチ体操を紹介

2. 滋賀大学の職域接種について

初回接種（2021 年 8～11 月実施）

	彦根キャンパス	大津キャンパス
初回接種者内訳	1920	950
（ア）自大学等接種人数（学生、教職員）	1349	716
（イ）地域貢献	571	234
① 近隣の教育機関の教職員及びその学生・生徒	84	86
② 自大学等と取引のある企業及び近隣に存在する企業の社員及び家族	428	117
③ 教職員及び学生・生徒・児童・園児の家族	59	31

第 1 回目接種（2021.8～10）

	第 1 クール	第 2 クール	第 3 クール	計
彦根キャンパス	1755	124	41	1920
大津キャンパス	873	71※	6	950
計	2628	195	47	2870

※高校生 12 名含む

第 2 回目接種（2021.9～11）

	第 1 クール	第 2 クール	第 3 クール	計
彦根キャンパス	1731	119	42	1892
大津キャンパス	875	62※	8	945
計	2606	181	50	2837

※高校生 12 名含む

職域接種は、国立大学法人滋賀医科大学、彦根市立病院、社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院にご協力いただきました。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について

～ 1 回目接種、彦根キャンパス～

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

2021.9.13 発行

【対象と方法】

滋賀大学彦根会場で 1 回目の接種を受けた方で、滋賀大学の学生・教職員 1,178 名に対して 9 月 2 日～10 日にかけて WEB アンケートを実施し、期日までに回答のあった 352 名（29.9%）を集計しました。

表 1. 回答者の内訳

		全体		学生		職員	
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢
性別	男性	210	27.2	153	21.8	57	41.8
	女性	140	25.5	107	20.8	33	40.7
	その他	2	20.5	2	20.5		
総計		352	26.5	262	21.4	90	41.4

【接種後の副反応について】

何らかの副反応があったと回答したものは 300 名（85.2%）でした。接種部位の疼痛は 74.7%の人に生じています。接種部位の腫れは 34.1%に生じています。全身の症状としては、多い順に筋肉痛（46.0%）、疲労（29.5%）、頭痛（21.0%）、発熱（20.7%）でした。ほとんどの症状は当日か翌日に出現し、持続期間は 1 日から 4 日間でしたが、発赤・紅斑（13.9%）は 1 週間してから症状が出現する人もいました。

表 2. 副反応を生じた割合とその各症状の割合

症状	全 体 (%)	学 生 (%)	教職員 (%)
副反応あり	85.2	83.2	91.1
接種部位の痛み	74.7	74.4	75.6
接種部の腫れ	34.1	35.1	31.1
筋肉痛	46.0	45.0	48.9
疲労	29.5	27.1	36.7
頭痛	21.0	20.6	22.2
発熱	20.7	23.3	13.3
発赤・紅斑	13.9	10.7	23.3
悪寒	8.8	8.8	8.9
関節痛	7.7	8.8	8.9
リンパ節の腫れ・痛み	5.4	3.8	10.0
嘔気	2.0	2.3	1.1

学内の方には 2 回目接種後にも副反応についてアンケートを実施します。ご協力をよろしくお願いします。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第2報

～1回目接種、彦根・大津キャンパス～

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

2021.9.21 発行

【対象と方法】

滋賀大学彦根および大津会場で1回目のモデルナ社製ワクチンの接種を受けた方のうち、滋賀大学の学生・教職員 1,826 名（彦根 1,178、大津 648）を対象にして、9月2日～10日（彦根）、7日～13日（大津）にかけてWEBアンケートを実施しました。期日までに回答のあった 641 名（彦根 352、大津 289）・回答率 35.1%（彦根 29.9%、大津 44.6%）を集計しました。

表1. 回答者の内訳

		全体		学生		職員	
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢
性別	男性	323	27.2	241	21.8	82	41.8
	女性	316	25.5	264	20.8	52	40.7
	その他	2	20.5	2	20.5		
総計		641	26.5	507	21.4	134	41.4

【接種後の副反応について】

何らかの副反応があったと回答したものは 563 名（87.8%）でした。接種部位の疼痛は 78.6%の人に生じています。全身の症状としては、多い順に筋肉痛（45.7%）、疲労（26.7%）、頭痛（21.4%）、発熱（20.7%）でした。それぞれの副反応については8～9割が当日か翌日に出現し、持続期間は2日間前後でした。

発赤・紅斑（9.8%）を呈した人の 44.4%に当日か翌日に症状が出現していましたが、41.3%の人には大体1週間前後に症状が出現してまいした。3～4日で消失しており、いわゆる「モデルナアーム」と考えられ、教職員の女性に多く見られました。

表2. 副反応発症割合、症状別発症割合、発症日、症状持続日数

症状		全 体 (%)	学 生 (%)	教職員 (%)	有症状者の発症割合 (%)		症状持続 日数
					当日	翌日	
副反応あり		87.8	88.4	85.8			
接種部位の痛み		78.6	79.9	73.9	66.5	31.9	2.6
接種部の腫れ		29.5	29.8	28.4	41.3	41.8	3.0
筋肉痛		45.7	46.9	41.0	55.6	39.6	2.4
疲労		26.7	25.8	29.9	38.6	56.1	2.2
頭痛		21.4	22.1	18.7	34.3	58.4	1.9
発熱		20.7	23.7	9.7	25.6	69.9	1.6
発赤・ 紅斑	全期間	9.8	7.1	20.1	20.6	23.8	3.8
	6-8日目発症 (男、女)	4.1	3.0 (2.1、3.8)	8.2 (4.9、13.5)	6-8日目 41.3		3.5
悪寒		8.3	8.9	6.0	24.5	66.0	1.5
関節痛		6.9	7.7	3.7	27.3	68.2	2.2
リンパ節の腫れ・痛み		6.4	5.7	9.0	9.8	22.0	3.5
嘔気		3.0	3.6	0.7	52.6	42.1	1.3

学内の方を対象に2回目接種後にも、副反応についてのアンケートを予定しています。ご協力をよろしくお願いします。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第3報（訂正）

～2回目接種、彦根キャンパス～

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

2021.10.12 発行, 19 訂正

【対象と方法】

滋賀大学彦根会場で9月14～17日の期間に2回目のモデルナ社製ワクチンの接種を受けた方のうち、滋賀大学の学生・教職員1,163名を対象に、10月4～10日にWEBアンケートを実施しました。期日までに回答のあった297名（回答率25.5%）分を集計しました。（なお再集計し一部数字等を訂正しました。）

表1. 回答者の内訳

		全体		学生		職員	
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢
性別	男性	184	27.1	135	21.5	49	42.4
	女性	113	24.3	91	20.8	22	38.8
総計		297	26.0	226	21.2	71	41.3

【2回目接種後の副反応について】

何らかの副反応があったと回答した割合は97.0%（217名）と1回目の87.8%より増加しました。2回目の副反応の方が重いと回答した割合は87.8%でした。2回目は発熱がほぼ必発（20.4→88.6%）し、頭痛（21.4→58.2%）が顕著に増え、半分以上の人が薬を使用していました。ほとんどの副反応は9割が当日か翌日に出現し、持続期間は2日間前後であることは1回目と同様でした。発赤・紅斑を生じた割合も増加（9.8→19.5%）しました。1週間前後に発赤・紅斑を生じる「モデルナアーム」は2回目では減少（4.1→2.7%）しましたが、教職員の女性に多い（9.1%）ことは1回目と同様でした。

表2. 副反応発症割合、症状別発症割合、発症日、症状持続日数

症状		全 体 (%)	学 生 (%)	教職員 (%)	有症状者の 発症割合 (%)		症状の 持続日数	薬使用
副反応あり		97.0	96.0	100			(日)	(%)
2 回目副反応重い		87.8	86.2	93.0	当日	翌日		
接種部位の痛み		83.8	84.5	81.7	70.7	28.1	2.5	11.0
接種部の腫れ		47.1	44.7	54.9	49.3	43.6	2.9	6.4
発熱 (↑↑↑)		88.6	87.6	91.5	50.2	48.7	1.9	58.9
頭痛 (↑)		58.2	59.7	53.5	40.5	54.9	2.2	52.0
筋肉痛		48.8	45.6	59.2	59.3	37.2	2.5	13.8
疲労		45.1	38.5	66.2	46.3	50.0	2.4	8.2
悪寒		44.4	44.2	45.1	57.6	39.4	1.5	31.8
関節痛		32.7	30.1	40.8	45.4	51.5	2.1	25.8
発赤・ 紅斑	全期間	19.5	16.4	29.6	39.7	37.9	4.4	3.4
	7-10 日発症 (男、女)	2.7 (0.5、2.7)	0.4 (0、1.1)	4.2 (2.0、9.1)	5-10 日目 6.9		6.5	/
リンパ節の腫れ・痛み		7.4	5.8	12.7	27.3	45.5	2.4	
嘔気・嘔吐		5.1	4.9	5.6	53.3	40.0	1.9	13.3

* mRNA コロナワクチン接種後に心筋炎・心膜炎を発症する例が報告されています。2回目接種後の若年男性に多く、軽症で6日以内に後遺障害なく治癒しています。新型コロナウイルス感染症に伴う心筋炎・心膜炎の方がはるかに頻度は高く、ワクチン接種によるものは極めて稀です。風邪症状に続いて、あるいはワクチン接種後に胸痛・息切れ・動悸が生じて悪化する場合は、医療機関に相談してください。

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応について第4報

～2回目接種、彦根・大津キャンパス～

滋賀大学保健管理センター所長 山本祐二

2021.10.19 発行

【対象と方法】 滋賀大学彦根キャンパス（9月14～17日）および大津キャンパス（9月21～23、25日）の接種会場で2回目のモデルナ社製ワクチンの接種を受けた方のうち、滋賀大学の学生・教職員 1,816 名を対象に、副反応についてのWEB アンケートを実施しました。期日までに回答のあった 517 名（回答率 28.5%）分を集計しました（ただし男女別集計ではその他 1 名を除いた）。

【2回目接種後の副反応について】

何らかの副反応があったと回答した割合は 97.5%（504 名）と 1 回目の 87.8%より増加しました。2回目接種後に何らかの副反応があった人の 90.3%が 2 回目の副反応の方が重いと回答しました。2 回目は発熱がほぼ必発（20.4→89.6%）し、頭痛（21.4→61.9%）が顕著に増え、半分以上の人が薬を使用していました。ほとん

表1. 回答者の内訳

		全体		学生		職員	
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢
性別	男性	271	27.1	198	21.5	73	42.5
	女性	245	23.8	210	20.6	35	42.8
	その他	1	22.0	1	22.0		
総計		517	25.5	409	21.2	108	42.6

どの副反応は 9 割が当日か翌日に出現し、持続期間は 2 日間前後であることは 1 回目と同様でした。発赤・紅斑を生じた割合も増加（9.8→16.1%）しました。1 週間前後に発赤・紅斑を生じる「モデルナアーム」は 2 回目では減少（4.1→1.2%）しましたが、教職員の女性に多い（5.7%）ことは 1 回目と同様でした。

表2. 副反応発症割合、症状別発症割合、発症日、症状持続日数

症状		全 体 (%)	学 生 (%)	教職員 (%)	有症状者の 発症割合 (%)		症状の 持続日数	薬使用
副反応あり		97.5	97.3	98.1	当日	翌日	(日)	(%)
2 回目副反応重い		90.3	89.2	94.3				
接種部位の痛み		84.9	86.3	79.6	70.7	24.6	2.5	11.4
接種部の腫れ		44.5	42.8	50.9	50.0	43.0	2.7	7.8
発熱 (↑↑↑)		89.6	89.2	90.7	49.0	50.3	1.9	62.0
頭痛 (↑)		61.9	63.1	57.4	38.1	55.9	2.2	52.2
筋肉痛		47.0	46.2	50.0	60.1	37.4	2.2	13.6
悪寒		45.8	46.0	45.4	57.8	40.1	1.5	32.5
疲労		44.7	39.6	63.9	48.1	49.4	2.4	10.0
関節痛		34.8	33.0	41.7	42.2	56.1	2.1	23.3
発赤・ 紅斑	全期間	16.1	13.7	25.0	38.6	38.6	4.0	3.6
	5-10 日発症 (男、女)	1.2 (0.4、2.0)	0.7 (0、1.4)	2.8 (1.4、5.7)	5-10 日目 13.8		6.5	
嘔気・嘔吐		7.4	8.1	4.6	50.0	42.1	1.5	18.4
リンパ節の腫れ・痛み		7.0	5.6	12.0	22.2	58.3	2.3	13.9

* mRNA コロナワクチン接種後に心筋炎・心膜炎を発症する例が報告されています。2 回目接種後の若年男性に多く、軽症で 6 日以内に後遺障害なく治癒しています。新型コロナウイルス感染症に伴う心筋炎・心膜炎の方がはるかに頻度は高く、ワクチン接種によるものは極めて稀です。ワクチン接種後に胸痛・息切れ・動悸などが生じる場合、医療機関に相談してください。なおワクチン接種後の心筋炎の報告は、ファイザー社製に比べモデルナ社製ワクチンによるものが多かったことから、厚労省は 10 月 15 日付で 10-20 代の男性でモデルナ社製ワクチン接種を予約している場合、希望すれば 2 回目からでもファイザー社製を選択できる旨を通知しました（個人で会場予約が必要、予約の詳細はコロナワクチンナビ <https://v-sys.mhlw.go.jp/> を参照）。